



国際港湾都市・神戸の魅力的な都市空間の創造



大阪公立大学 (仮称)

大阪市立大学大学院 工学研究科
教授 嘉名 光市

自己紹介

嘉名 光市（かな こういち）

大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻 教授

博士（工学）、一級建築士。技術士（都市及び地方計画）

1968年大阪府河内長野市生まれ。大阪府立生野高等学校卒業。

東京工業大学工学部社会工学科卒業。東京工業大学大学院社会理工学研究科博士後期課程修了（景観研究）。シンクタンク勤務ののち、大阪市立大学大学院講師、准教授を経て現職。

専門は都市計画、都市再生デザイン、景観論、エリアマネジメント。

大阪市都市景観委員会委員長、神戸市都市計画審議会、堺市都市計画審議会、デザイン都市神戸創造会議、神戸市都市計画マスタープラン研究会など 京阪神での都市計画・都市デザインに参画

大阪府市特別参与（-'15）2025年万博基本構想検討会議委員、

2025日本万国博覧会誘致委員会アカデミックアンバサダーほか

水都大阪、御堂筋空間再編、大阪版BID条例をはじめ、都市再生のための公共空間デザイン・マネジメントを実践するプロジェクトの計画立案、制度設計、社会実験を数多く実践。

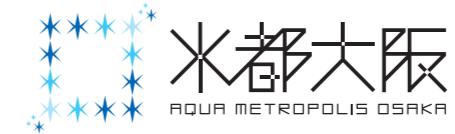
2015年度 日本都市計画学会石川賞（水都大阪のまちづくり）（共同）

2017年 日本建築学会賞（業績）（大阪市「生きた建築ミュージアム事業」による建築文化の振興）（共同）。

主な著書に「生きた景観マネジメント」（鹿島出版会）、「都市を変える水辺アクション 実践ガイド」（学芸出版社）、「生活景」（学芸出版社）、「景観再考」（鹿島出版会）、「生きた建築 大阪」（140B）、「景観計画の実践」（森北出版）ほか。

まちのコモンズ

公開空地・近代建築



河川・公園・船着場
水都大阪2009

北浜テラス準則特例適用



船場博覧会

公開空地・近代建築

御堂筋 (公開空地)

河川・公園・船着場

舟運

×
バル

自転車

アジアンアーツクロッシング
(おおさかカンヴァス事業)



中之島ゲート



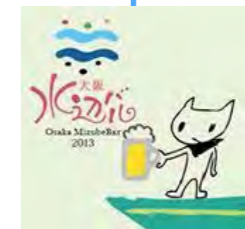
水都大阪フェス

アクティビティ
×河川・港湾

水辺バル

コイデコ

準則特例一般化



常設実験



公園

水の都の夕涼み

長期社会実験

中之島ガーデンブリッジ
オープンカフェ社会実験



橋梁 (道路) ・公園

生きた建築ミュージアム
フェスティバル

道路

近代建築

- ・戦後ビル建築
- オフィス・道路
- ・公開空地

大阪版
BID
条例

OBPホコ天フェスタ
PARK AVE-NEW!



てんしば



公園

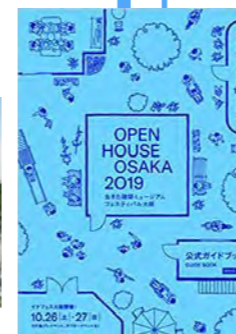
東遊園地



御堂筋
歩行者
空間化



三宮
えき~まち空間 中之島広場



中之島ゲート

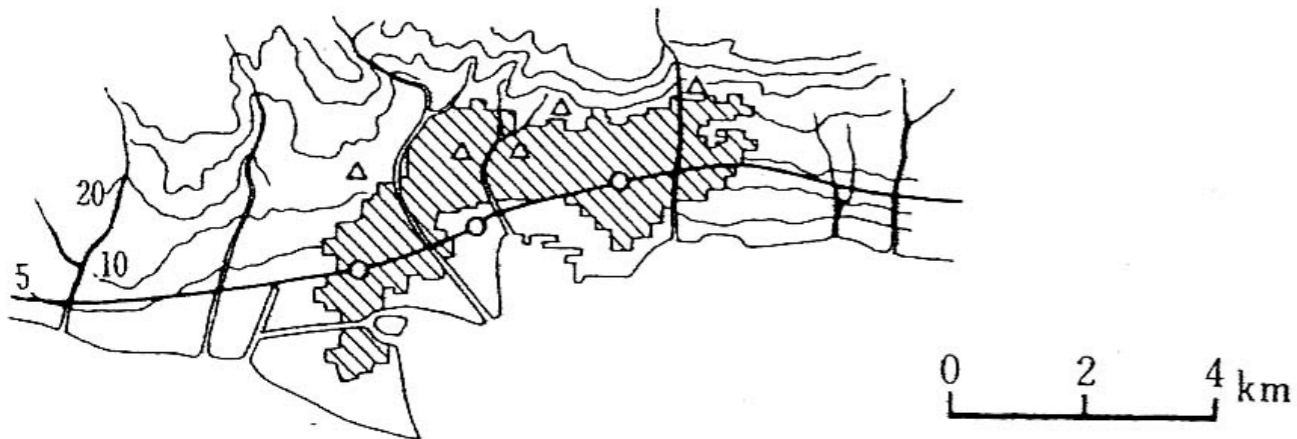
常設的社会実験

タグボート大正

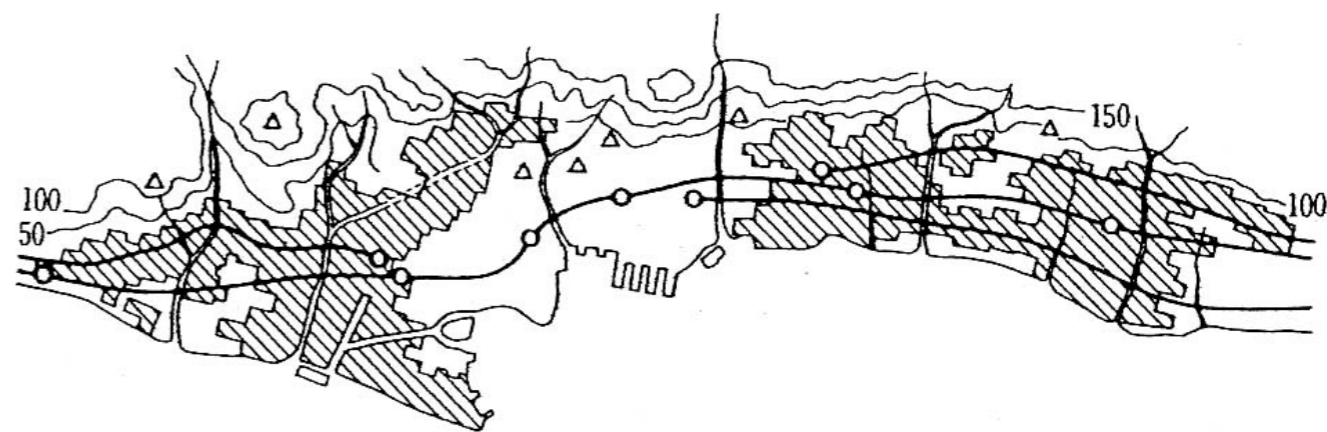
河川・港湾・舟運



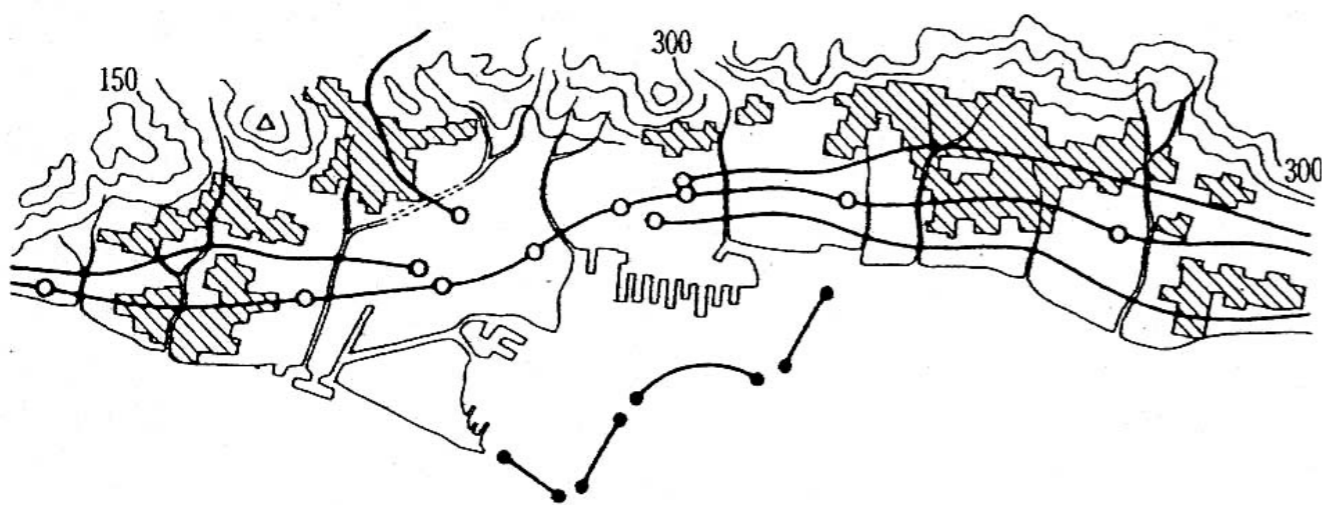
神戸のまちづくり (概略)



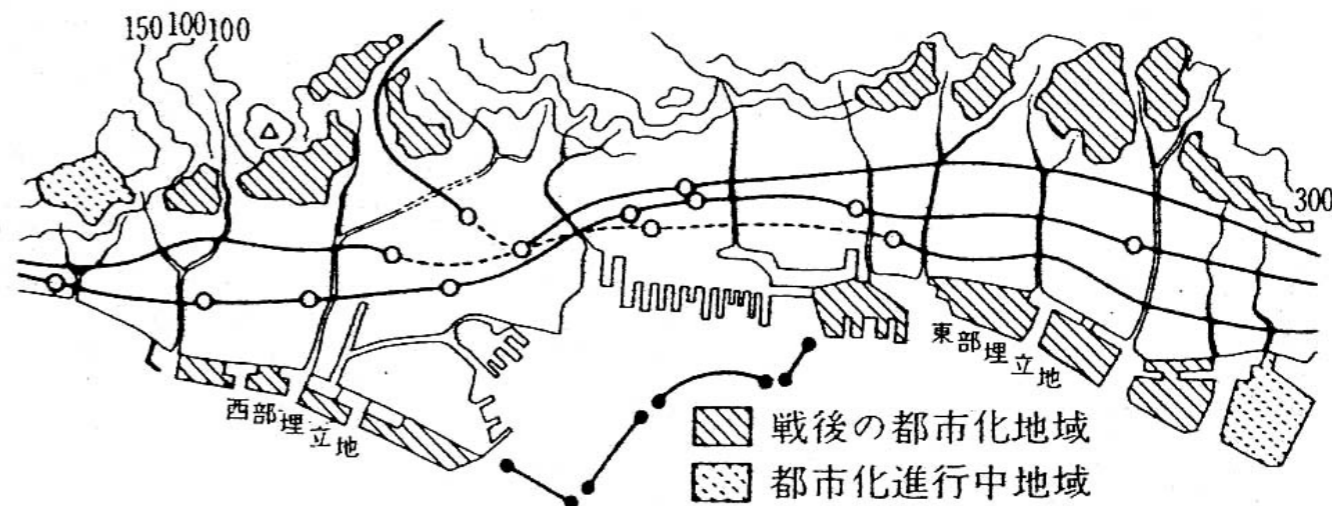
①明治19年～43年の都市化地域



②明治43年～大正12年の都市化地域

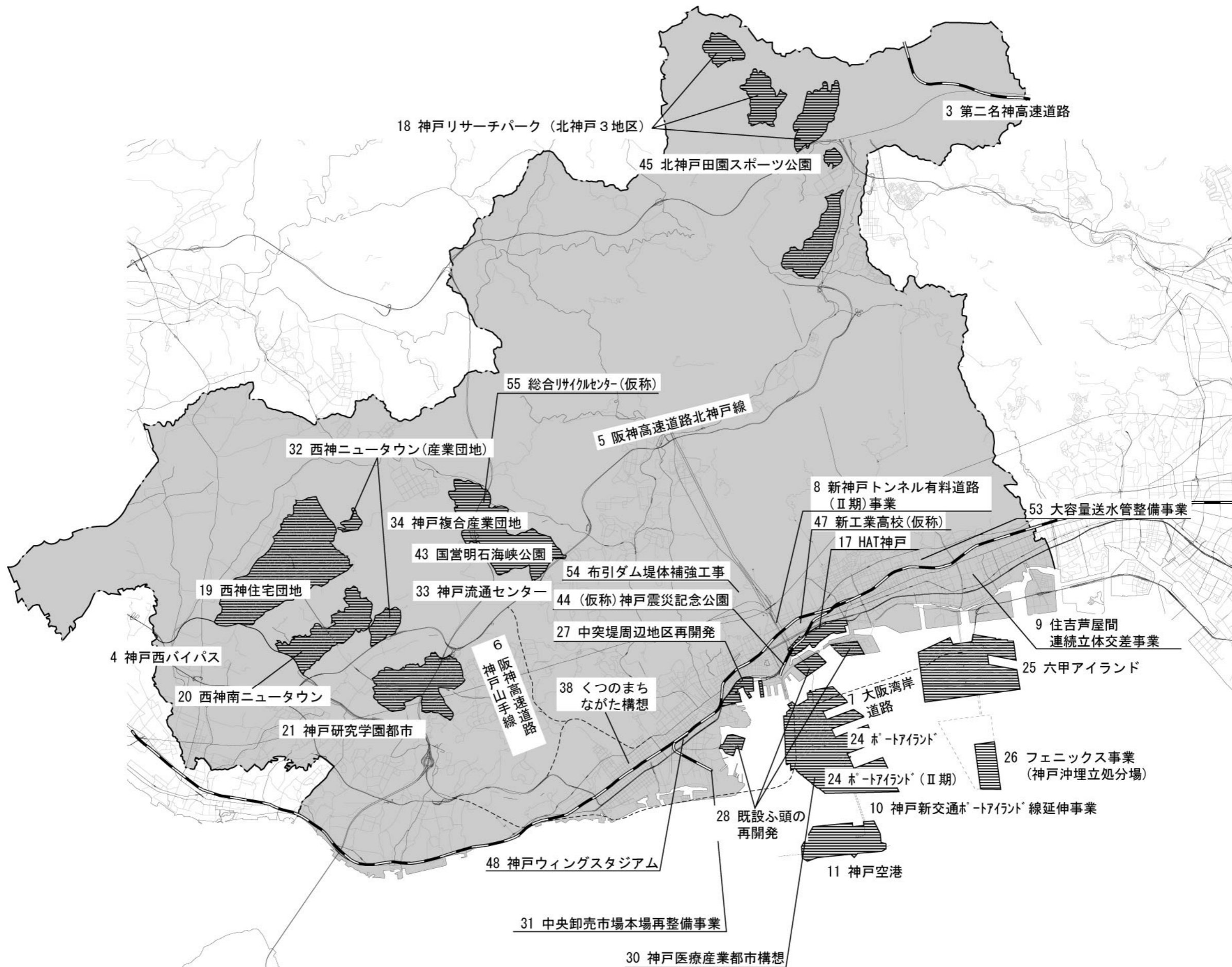


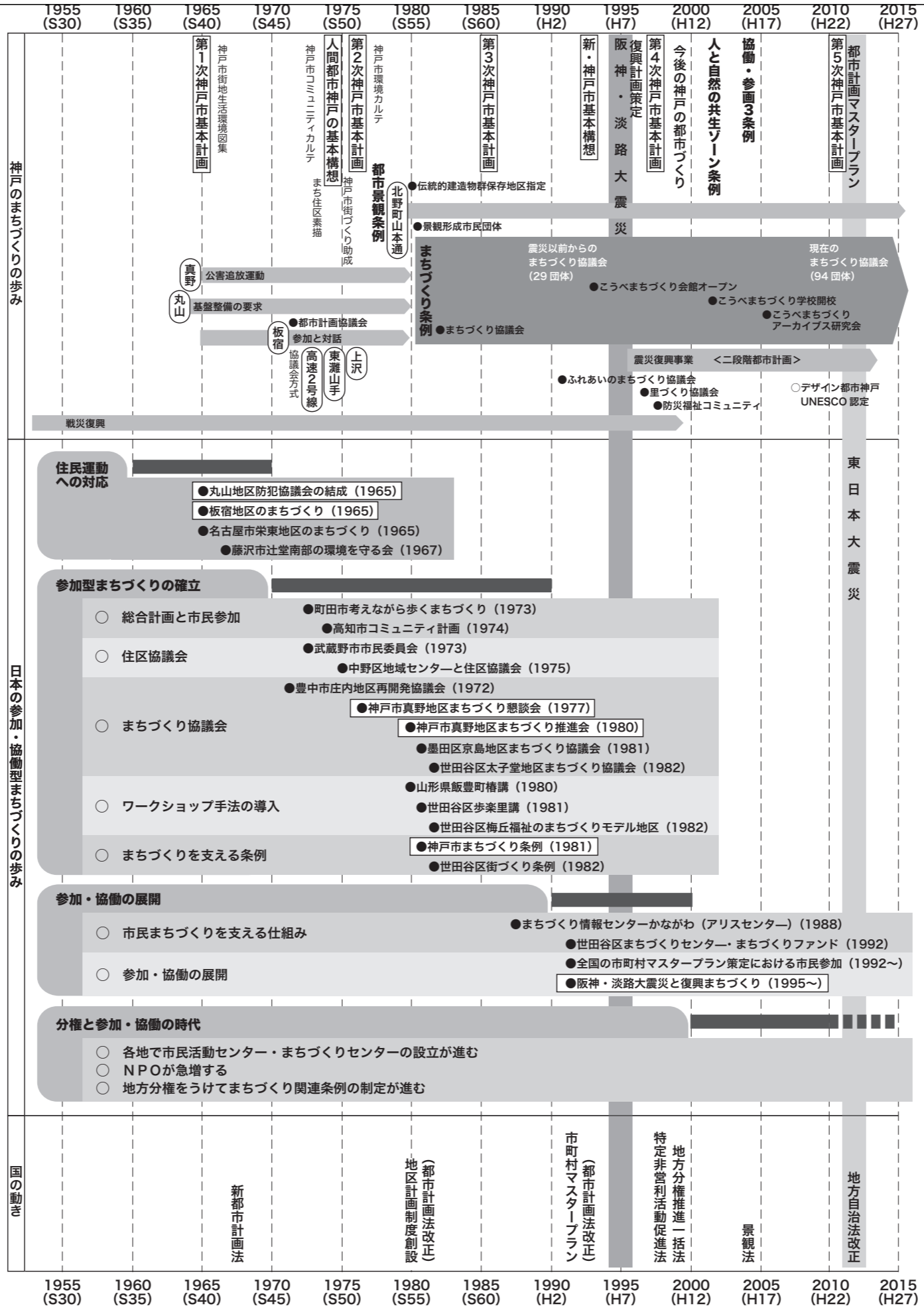
③大正12年～昭和20年の都市化地域

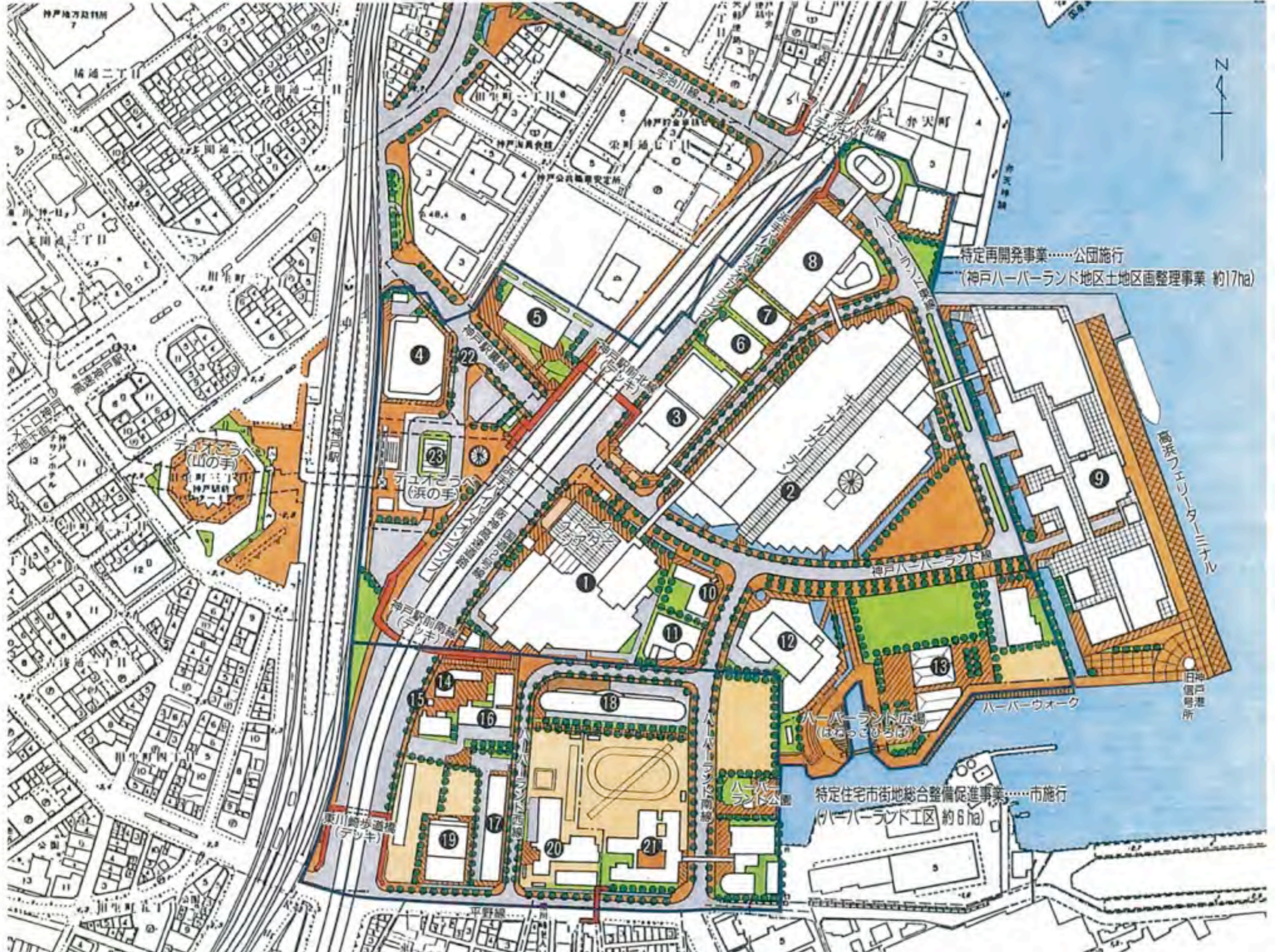


④第二次大戦後及び最近の都市化進行地域

神戸における都市化地域の拡大







骨格となる道路や主要施設の配置、街区の構成、周辺市街地との関わりがわかる



みなとみらい21マスタープラン 1/10,000 (元図)

主な市街地整備事業位置図



凡	例
	既存都市計画道路
	未整備道路
	公園 (1ha以上)

凡	例	プロジェクト
		5年内着手
		10年内着手
		道路整備
		鉄道 (地下鉄)
		河川改修事業
		防災ふれあい河川整備
		公園・緑地整備
		港湾整備
		駐車場整備

凡	例
	震災復興促進区域
	重点復興地域
	土地区画整理事業区域
	再開発事業区域
	地区計画区域
	住宅市街地総合整備事業区域
	密集住宅市街地整備促進事業区域
	港湾整備
	埋立

重点復興地域一覧表

都心地域	
① 三宮周辺	⑦ 都賀周辺
② 東部新都心	⑧ 新在家南
	⑨ 河原西
	⑩ 味泥
	⑪ 六甲
東部市街地	
③ 森南	
④ 深江	
⑤ JR住吉駅周辺	
⑥ 六甲道駅周辺	
西部市街地	
⑫ 新開地周辺	⑮ キャナルタウン兵庫
⑬ 西出・東出・東川崎	⑯ 浜山
⑭ 松本周辺	⑰ 長田・大開駅周辺
	⑱ 御菅
	⑲ 尻池北部
	⑳ 真野
	㉑ 新長田駅周辺
	㉒ 大道周辺
	㉓ 真陽
	㉔ 新長田

地元主体による震災復興のまちづくり

《震災復興市街地再開発事業の進め方》

震災復興市街地再開発事業においては、早急に復興を推進するため、公共団体施行による第二種市街地再開発事業(管理処分方式)が採用されました。

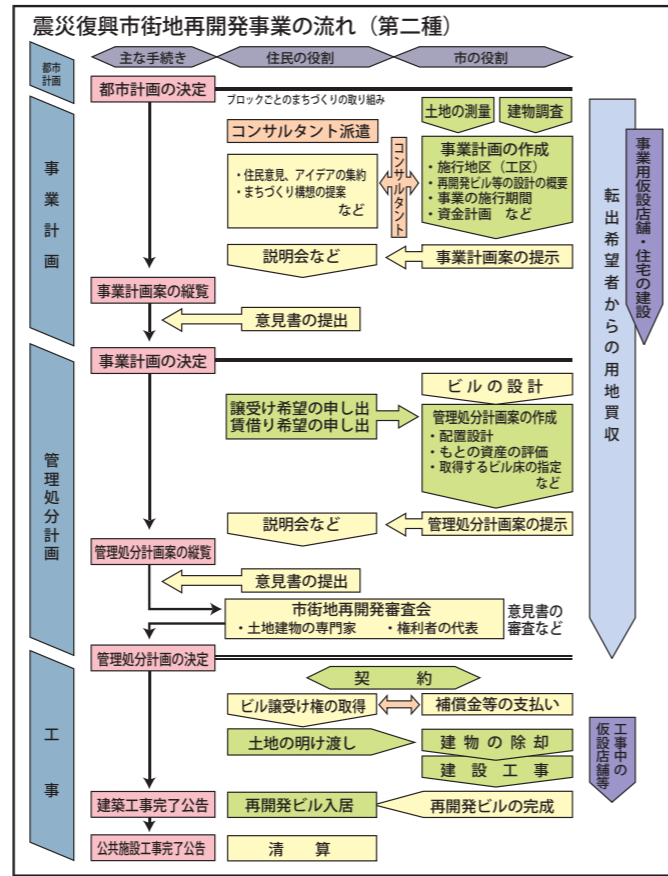
■ まちづくり協議会と地元提案

これまでの事業では、行政が作成した事業計画案について、説明会等で地元の意見をいただきながら進めてきました。

震災復興再開発事業の実施にあたっては、震災後に新長田駅南、六甲道駅南の両地区とも数街区単位で結成された「まちづくり協議会」で地元のみなさんが議論したうえで、協議会から地元の意見を集約した「まちづくり構想」の提案をいただき、それを生かしながら「事業計画」をつくっていきます。

■ コンサルタントの役割

震災復興再開発事業では、地元のみなさんと行政が協働してまちづくりを具体化していくため、まちづくり協議会の検討過程でのアドバイスや地元案の作成などの地元支援にコンサルタントが重要な役割を果たしています。

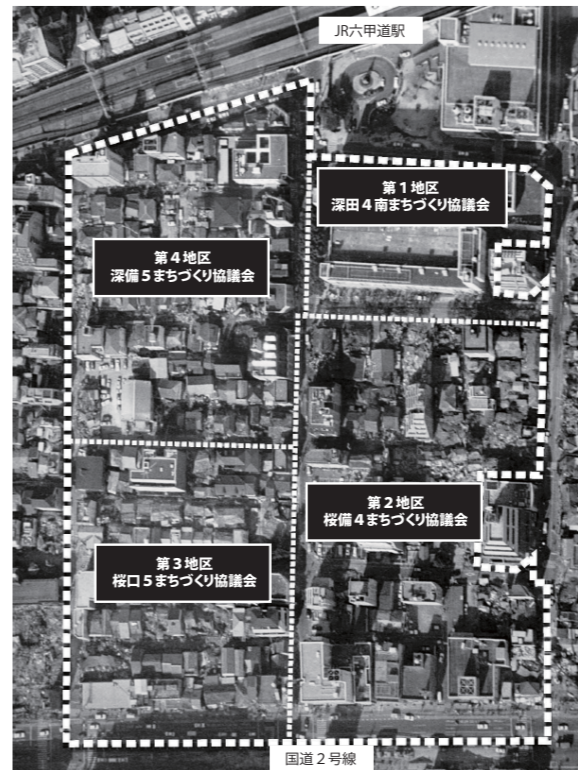


■ 震災復興市街地再開発事業区域におけるまちづくり協議会

阪神・淡路大震災後、六甲道駅南地区では4つ、新長田駅南地区では7つの協議会が設立され、地元主体による復興が始まりました。

地区名	面積 [ha]	事業地区	まちづくり協議会の名称	設立年月日	面積 [ha]
六甲道駅南	5.9	第1地区	深田4南まちづくり協議会	平成7年 3月24日	0.8
		第2地区	桜備4まちづくり協議会	平成7年 6月18日	2.0
		第3地区	桜口5まちづくり協議会	平成7年 6月18日	1.5
		第4地区	深備5まちづくり協議会	平成7年 6月18日	1.7
新長田駅南	20.1	第1地区	久二塚6まちづくり協議会	平成7年 9月 3日	3.7
		第2地区	久二地区震災復興まちづくり協議会	平成7年 2月15日	4.4
			大橋7丁目まちづくり協議会	平成8年 1月12日	1.2
		第3地区	日吉2丁目まちづくり協議会	平成7年 7月 9日	0.9
			新長田駅前地区復興まちづくり協議会	平成7年 7月13日	4.4
新長田駅前地区大若復興協議会	平成7年11月26日	1.9			
大橋3丁目まちづくり協議会	平成8年 9月19日	0.9			

下記に一例として、六甲道駅南地区のまちづくり協議会の活動を紹介します。



■ 六甲道駅南地区 まちづくり協議会の経緯

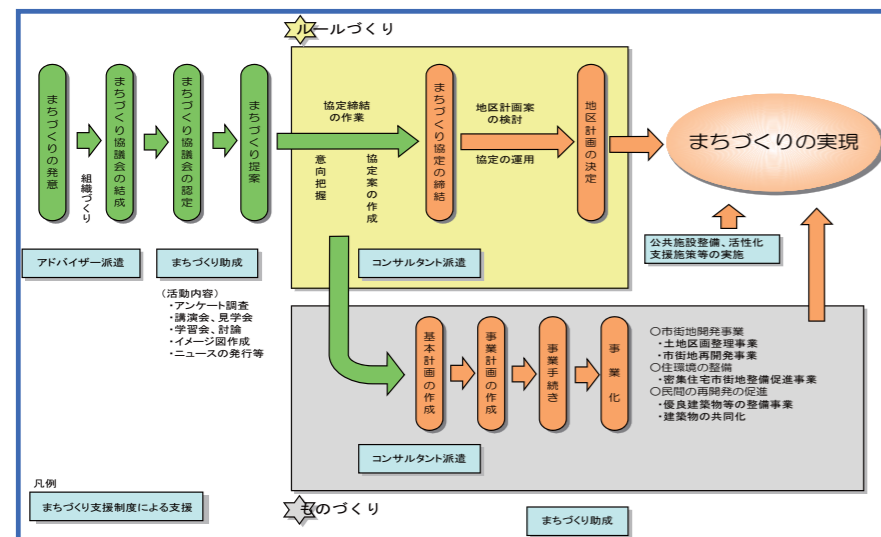
- <平成7年>
 - 3月17日 第二種市街地再開発事業の都市計画決定
 - 7月 9日 六甲道駅南まちづくり連合協議会の設立
 - ・深田4南まちづくり協議会(第1地区)
 - ・桜備4まちづくり協議会(第2地区)
 - ・桜口5まちづくり協議会(第3地区)
 - ・深備5まちづくり協議会(第4地区)
- <平成8年>
 - 3月17日 連合協議会において公園・道路配置計画案の決定
 - 12月16日 連合協議会によるまちづくり提案の提出
- <平成9年>
 - 2月28日 第二種市街地再開発事業の都市計画の変更
- <平成11年>
 - 3月 六甲道駅南地区愛称決定「ウェルブ六甲道」
- <平成16年>
 - 3月 再開発ビル全棟完成を祝う会・まちづくり協議会解散
 - 管理協議会・組合結成
 - 10月 六甲道南公園着工
- <平成17年>
 - 9月 六甲道南公園完成
 - 六甲道駅南地区再開発事業完了

■ 震災復興に活かされた「神戸市まちづくり条例」と「協働のまちづくり」

神戸市においては、昭和55年に創設された「地区計画」制度に対応するとともに、市民のコミュニティ活動をまちづくり活動に結実させるためのシステムとして、昭和56年12月「神戸市地区計画及びまちづくり協定等に関する条例(まちづくり条例)」を制定しました。これは、各地区の発意によるまちづくりを、市民との役割を明確にした上で行政が支援しようとする、「協働のまちづくり」を具現化するものです。

平成7年の阪神・淡路大震災からの震災復興事業においても、地区住民等の主体的なまちづくりを実現するため、重要な役割を果たしました。

＜まちづくり条例に基づくまちづくりの進め方＞



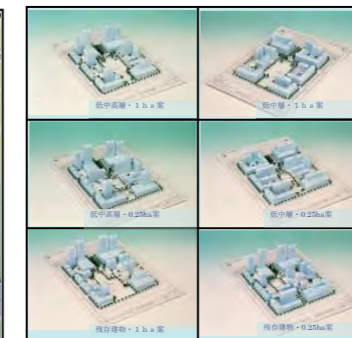
まちづくり協議会の様子



まちづくり提案の提出



都市計画決定時 当初案

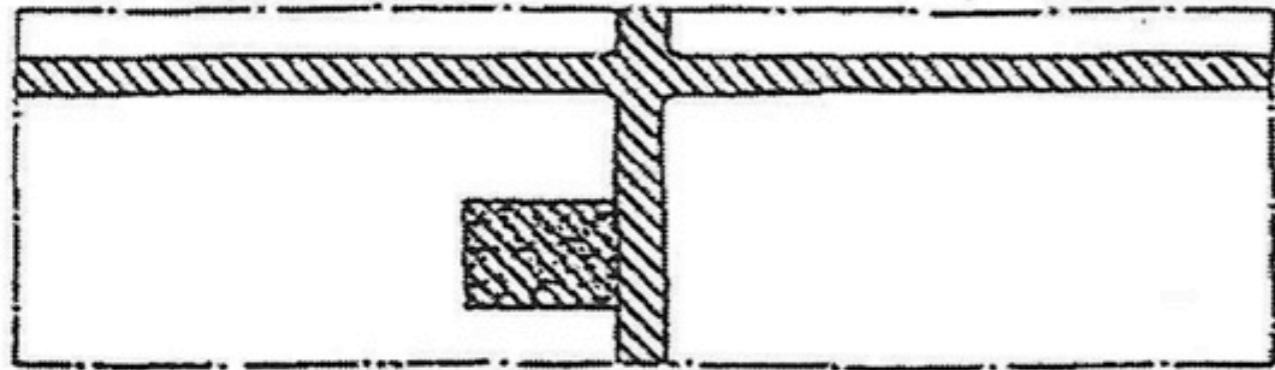


まちづくり協議会による公園検討



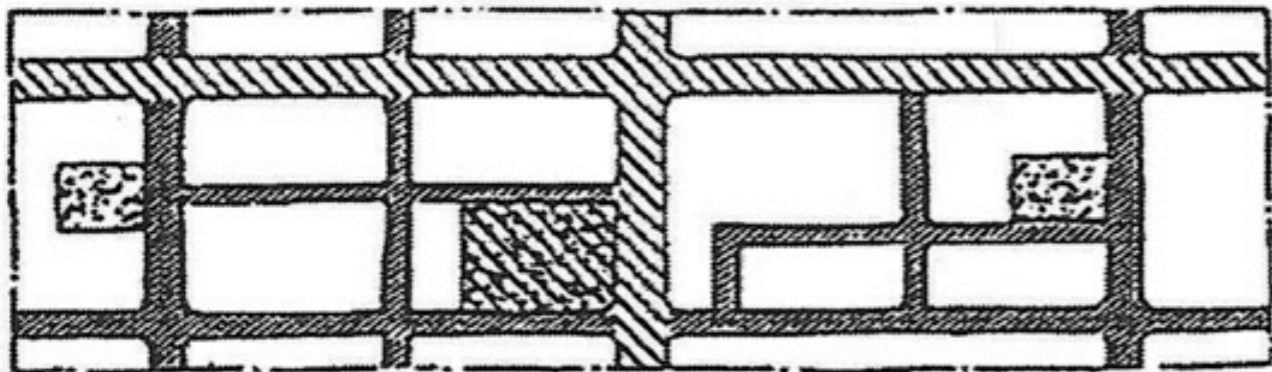
都市計画変更後 最終案

神戸市 震災復興時の2段階都市計画



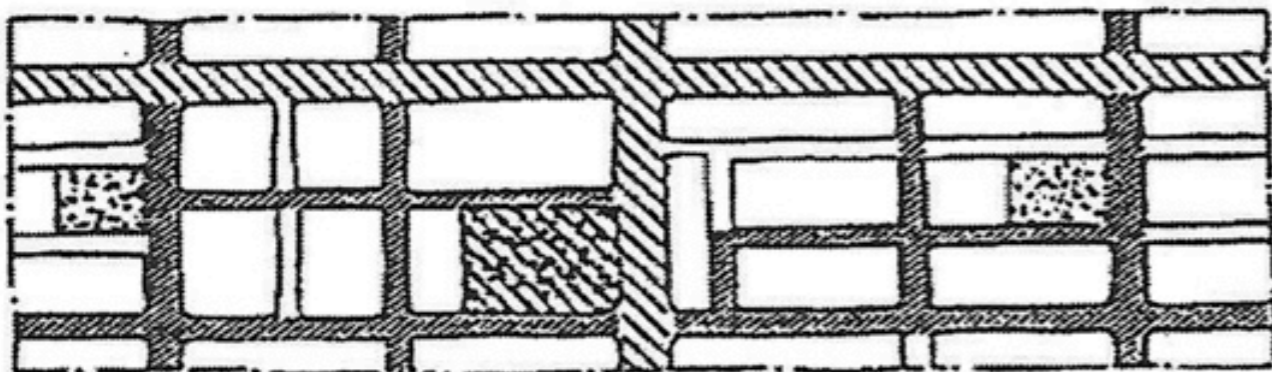
第一段階（都市計画決定） 枠組みの決定
区域 幹線街路 近隣公園

↓ (用地先行取得)

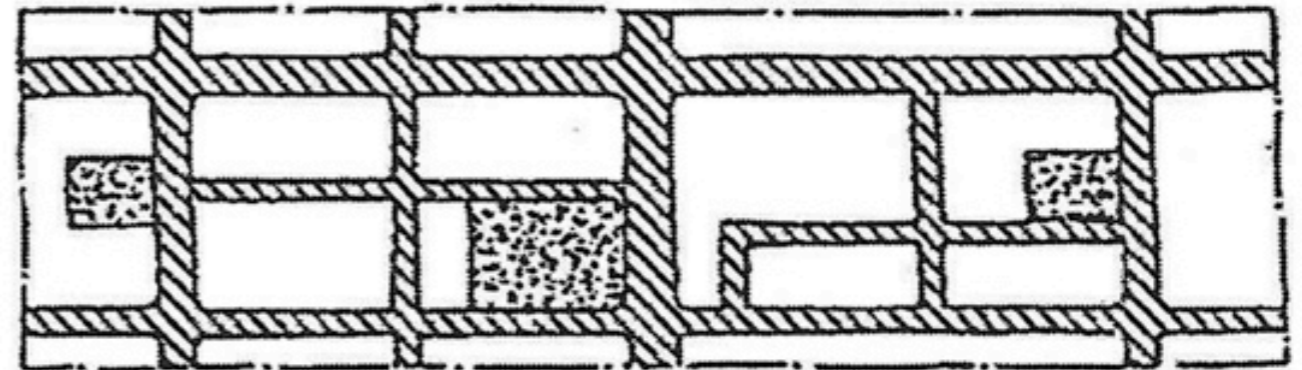


第二段階（都市計画決定） 住民との協議を踏まえ、
その他の都市施設の決定
補助幹線道路 主要な区
画街路 街区公園

↓

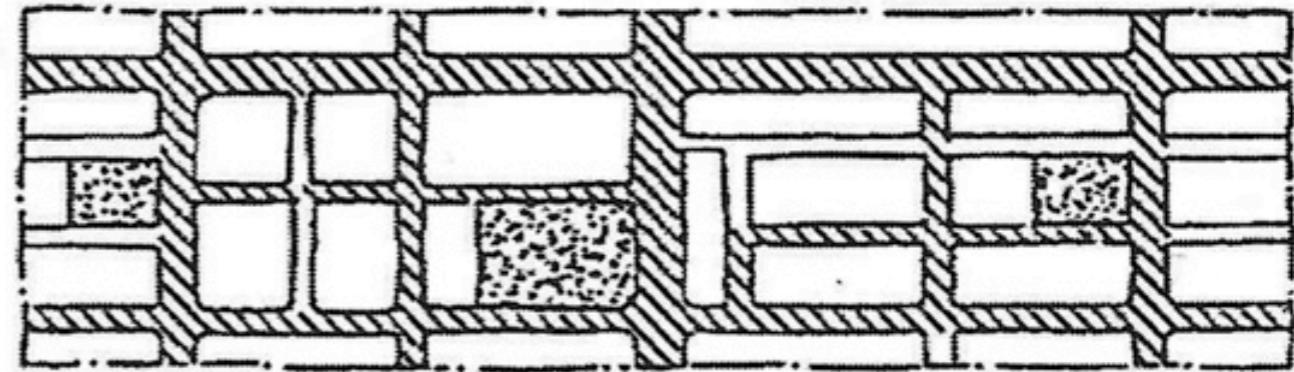


第三段階（事業計画決定） 区画道路等も含め、
事業計画決定



第一段階（都市計画決定） 区域 幹線街路 近隣公園
補助幹線道路 主要な区画
街路 街区公園

↓



第二段階（事業計画決定） 区画街路



都市・神戸の将来像
行政（主に神戸市）の資料を中心に

神戸市都市計画マスタープラン

—概要版—



平成23年3月
神戸市

【めざす都市空間】

- (1) 災害に強く安全で、誰もが暮らしやすい都市空間
 - ・防災施設の整備・充実と、減災の視点も取り入れた施策の推進や地域の防災力の向上
 - ・多様な地域特性に応じたきめ細やかな土地利用の誘導や暮らしを支える交通環境の形成
- (2) 活力を創造する都市空間
 - ・神戸経済を支える基幹産業の機能強化や、成長分野である知識創造型産業の集積の促進
 - ・総合的な交通ネットワークの形成による交流・融合を原動力とした経済の活性化
- (3) 環境と共生する都市空間
 - ・公共交通機関の利用促進などによる都市機能がコンパクトにまとまった都市構造の実現
 - ・六甲山系などの緑地環境や河川などの水環境の保全・育成及び質的向上
 - ・エネルギーの効率的な利用による環境負荷の少ない持続可能な低炭素都市の実現
- (4) デザインの視点で磨かれた魅力ある都市空間
 - ・神戸の美しい自然環境や多様で特色のある魅力的なまちなみをまもり、そだて、つくる
 - ・神戸の魅力を世界に発信するエリアの機能強化
 - ・にぎわいと楽しさ、やすらぎや心地よさ、利便性や快適性を感じられる都市空間の形成

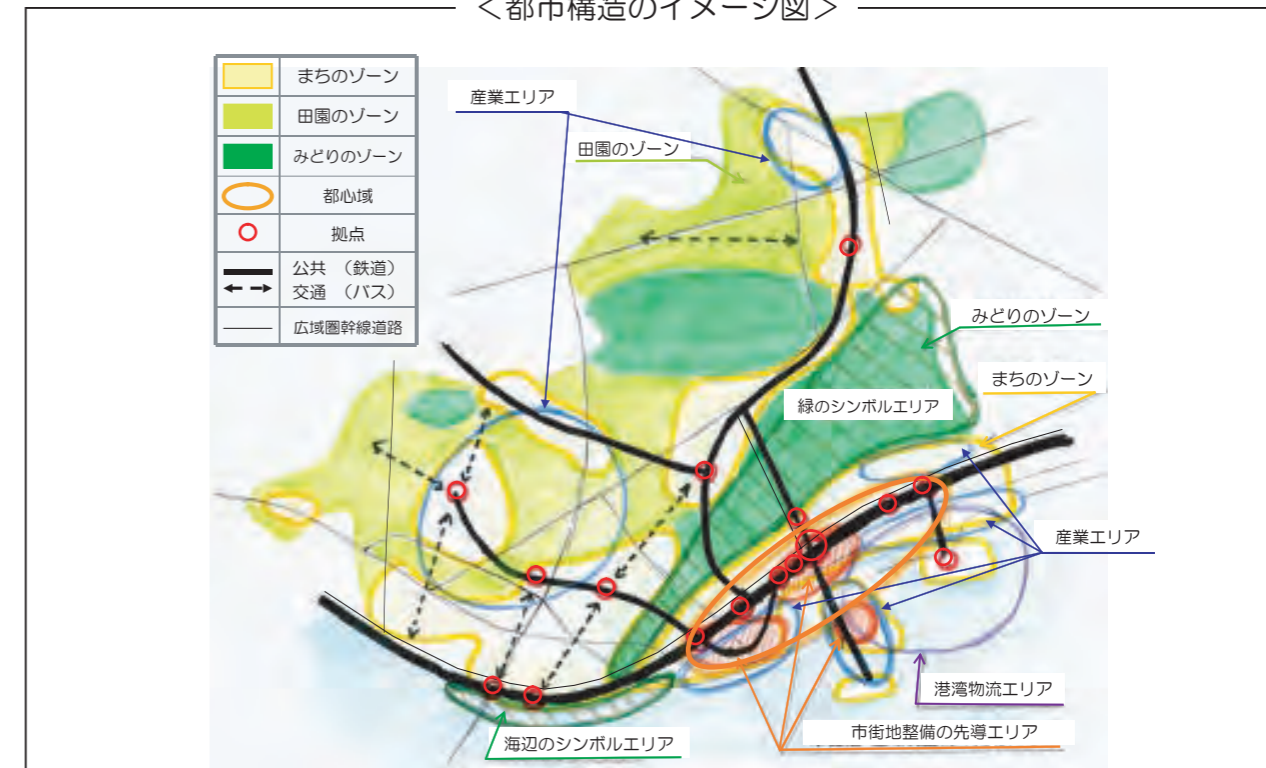
【めざす都市空間を支える都市構造】

神戸全体の都市空間の骨組みとなる「都市構造」として、「ゾーン」をはじめ、「エリア」や「拠点」を適切に配置するとともに、これらをつなぎ多様な都市活動を支える「陸・海・空の総合的な交通ネットワーク」の形成をはかります。

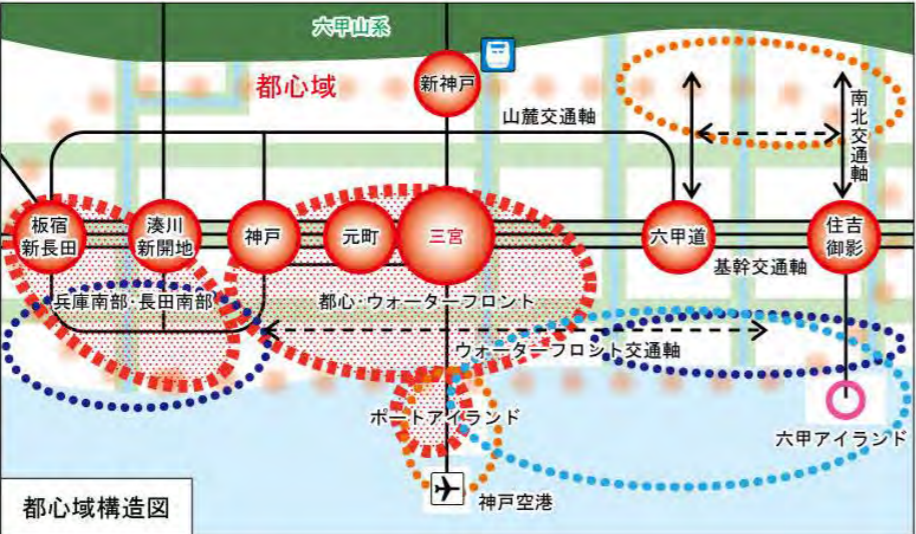
【都市構造の考え方】

- 都市機能がコンパクトにまとまった都市構造
- 神戸の重要な産業を支える都市構造
- 神戸の魅力を創造するエリアや拠点を戦略的に配置した都市構造
- 海や山などの豊かな自然環境と共生した都市構造
- 陸・海・空の総合的な交通ネットワークが効率よく機能する都市構造

＜都市構造のイメージ図＞



都市計画マスタープラン（神戸市）2011.3



凡例			
ゾーン	まちのゾーン	住宅地	[Yellow]
		複合機能地	[Orange]
		高度商業・業務地	[Pink]
		工業・流通業務地	[Blue]
		田園のゾーン	[Light Green]
	みどりのゾーン	[Dark Green]	
エリア・拠点	産業・港湾物流エリア	臨海産業エリア	[Blue dotted circle]
		内陸新産業エリア	[Purple dotted circle]
		知識創造エリア	[Orange dotted circle]
		港湾物流エリア	[Light Blue dotted circle]
	交流・融合の空間	都心域	[Red dotted line]
都心核		[Red solid circle]	
都心拠点		[Red circle with dot]	
市街地整備の 先導エリア		[Red dashed circle]	
連携拠点		[Purple circle]	
	地域拠点	[Pink circle]	
自然環境・憩いの空間	シンボルエリア (緑・海辺)	[Green dashed circle]	
	憩いの拠点	[Green solid circle]	
	河川	[Blue line]	
	環境形成帯	[Light Green shaded area]	
交通ネットワーク	公共交通	広域公共交通 (鉄道)	[Grey line]
		主要公共交通 (バス)	[Grey arrow]
		フェリー・客船など	[Ship icon]
		空港	[Airplane icon]
		新幹線	[Blue train icon]
	広域圏幹線道路	供用中	[Solid grey line]
		事業中	[Dashed grey line]
計画		[Dotted grey line]	
構想		[Thin dotted grey line]	

都心・三宮NEWS

vol.01

神戸市では、平成27年9月に神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]と三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。ここでは都心・三宮の再整備に関する最近の動きを紹介します。みなさんと一緒になって未来の神戸を創っていきましょう！

住宅都市局 都心三宮再整備課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL: 078-322-6934 / FAX: 078-322-6095 / MAIL: kobe-toshin@office.city.kobe.lg.jp

Topics

阪急三宮ビル建替計画について発表される！

震災以降暫定的な建物として開業されていた神戸阪急ビル東館の建替計画が、阪急電鉄より発表されました。この事業は神戸市が目指す「えき～まち空間」の創出につながる事業であり、三宮周辺地区の「再整備基本構想」を踏まえた計画となっています。(予定)ビル内の施設構成(地下3階、地上29階): オフィス / 商業施設 / 宿泊主体型ホテル

駅ビルが心地よい空間に！

分かりやすい乗り換えルートへの改善

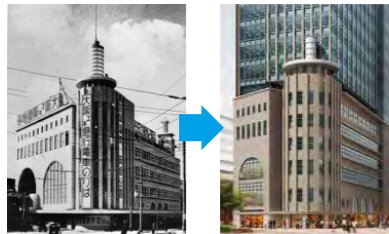
阪急(東改札口)⇄市営地下鉄

- ・バリアフリーのエレベーターの設置
- ・上り下りのエスカレーターの設定
- ・1階部分に利用者のためのゆとりあるイベントスペースを確保

人を惹きつけ心に残る景観形成

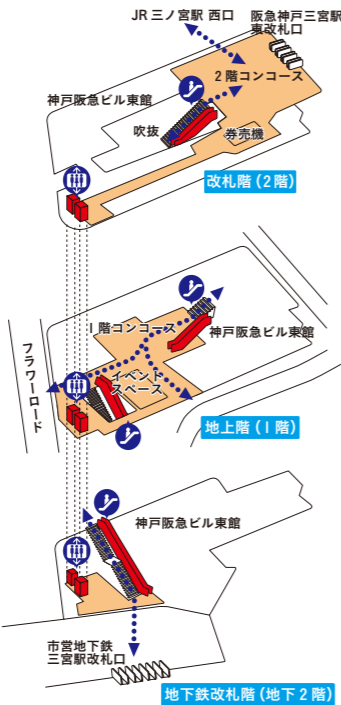
ビルの低層部において、旧神戸阪急ビル東館のデザインを採用

歴史と記憶を未来へと継承し、風格とにぎわいのあふれる外観を形成



旧神戸阪急ビル東館 建替後のイメージ(低層部)

最上階に港町・神戸の魅力ある景観が楽しめる開放的な展望フロアを整備



check!

都心・三宮の再整備に関する取り組み等の情報についてはFacebookページ「神戸の都心・三宮」
https://www.facebook.com/kobetoshin/にて随時更新しています。



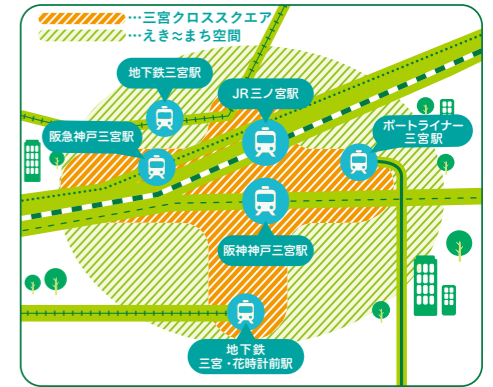
「えき～まち空間」ってなに？

まちであり、駅である空間、「えき」(6つの駅とバス乗降場)と「まち」をつなぐ空間のことです。神戸の玄関口としてふさわしい空間を目指します。

「えき～まち空間」実現に向けて…

こんなことに取り組みます！

- ◎駅前の道路を自動車から【人と公共交通優先の空間】に
- ◎民間ビルも活用しながら地下・地上・デッキの3層をより【上下移動しやすい空間】に
- ◎神戸らしさが感じられ、印象に残る【玄関口にふさわしい駅前空間】に



この空間を実現するための骨格となるものが「三宮クロススクエア」です。



「三宮クロススクエア」ってなに？

三宮交差点を中心として、地区内の6駅(JR、阪急、阪神、地下鉄西神・山手線、地下鉄海岸線、ポートライナー)を結ぶフラワーロードおよび中央幹線の一部を、人と公共交通優先の空間にしたものです。三宮を訪れる人々の活動の拠点・基点として、「えき～まち空間」の象徴となるような空間づくりを目指します。

「三宮クロススクエア」の実現に向けて…

こんなことに取り組みます！

- ◎三宮の中心部を通過する自動車交通を外周道路へ誘導
- ◎分かりやすく使いやすい交通手段の検討
- ◎交通弱者の方や、商業者の荷捌きなどへの配慮



官民が連携し、こんな空間を目指していきます！



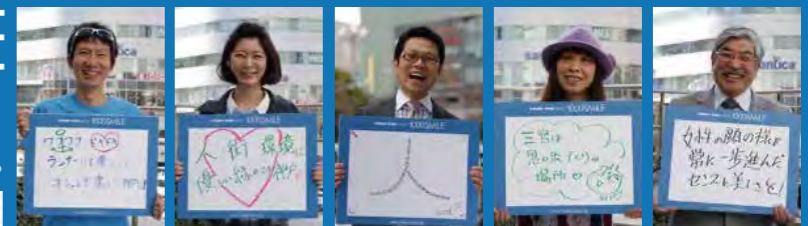
1000Smile

POWER・KOBE VISION

1,000人の笑顔と夢が神戸の都心の未来へつながります。

神戸都市ビジョン
http://kobevision.jp

検索



神戸市が進める都心・三宮の再整備について神戸にゆかりのある皆様がプロモーターとなり、「神戸の都心が変わる!」というプロモーション活動を行っています。



えき〜まち空間(三宮交差点を北方向に見る)



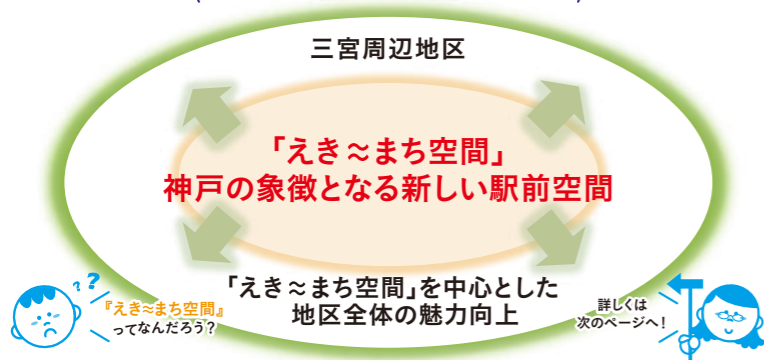
新港突堤からメリケンパーク方面を見る

三宮周辺地区の『再整備基本構想』

三宮周辺地区について、今後目指すべき姿や取り組みの方向性を示したものです。
『三宮周辺地区』は、三宮駅を中心とした半径500m程度の範囲を対象としています。

目指すべき将来像

「美しく港町・神戸の玄関口“三宮”」



風格ある街並みのデザインの誘導
景観デザインコードを設定することで建築物や公共施設のデザイン誘導、屋外広告物のコントロールを行い、神戸らしさを感じられる風格ある街並みを誘導します。



分かりやすいバスターミナル
現在分散している中・長距離バス乗降場を集約し、中央区役所の街区とミント神戸を一体的に利用したバスターミナルを新たに整備します。

まちづくりの5つの方針

- 1 笑顔で歩く**
歩くことが楽しく巡りたくなるまちへ
- 2 気持ちよく動ける**
誰にでも分かりやすい交通結節点へ
- 3 誘う魅力が溢れる**
いつ来てもときめく出会いと発見を
- 4 海・山、神戸らしさを感じる**
人を惹きつけ心に残るまちへ
- 5 支え、まもり育て、発信する**
地域がまちを成長させる

神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン]

これから目指すべき神戸の都心像をビジュアルに表現することで
分かりやすく共感・共有しやすいものにすることに重きを置いて取りまとめたものです。

コンセプト: 日々の刺激と物語が生まれる美しく港町・神戸 ~多文化・多世代交流 あなたが参加しているまち~

都心の将来像を表現する3つの柱

- 心地良いデザイン**
海と山を身近に感じられるコンパクトな都心の中に、活動しやすい空間が形成され、美しい景観や分かりやすいまちの情報が加わり、誰もが心地よく過ごし、働き、活動することができる。
- 出会い、イノベーション、そして文化**
個性豊かな人やまちが育ち、神戸独自の文化がより一層醸成される。様々な人々の交流・融合により技術革新や新産業の創出が起こり、社会経済が持続的に、そしてグローバルに発展する。
- しなやかで強いインフラ**
復興の過程で培われてきた防災力や、誰もが動きやすく人にやさしい交通体系などを備えた、安全・安心な社会インフラが都市活動を支えることで、50年後、100年後にもずっと魅力的なまちであり続ける。

都心に備える8つの軸



素敵な人と新しい発想に出会う
心地良いまちには魅力的な人が集まってくる。クリエイティブな人たちが出会い、お互いを刺激し、新たなアイデアや事業を創出していく。



人と街に優しい乗り物
さまざまな新しい交通手段、シェアリングサービスや自動運転などの新しい仕掛けも積極的に検討する。



それぞれの想いで公園を楽しむ
例えば「東遊園地」のような都心にある公園や広場を、もっとたくさんの人が楽しく活用できる場として「活性化」する。

[将来ビジョン]および「再整備基本構想」については、ホームページ「神戸都市ビジョン」にてご覧いただけます。詳しくは「神戸都市ビジョン」後編

500 Startups プログラムの実施

2016年度より実施中

ITを活用し社会にイノベーションを起こし得るスタートアップ（成長型起業家）を集め、育成する支援に取り組んでいます。

500 Startupsとは…

シリコンバレーにある世界トップレベルのスタートアップ育成支援団体であり、世界60か国1900社以上に投資しています。日本での育成プログラムは神戸でしか行われていません。



最終発表会の様子(平成29年10月)

特定都市再生緊急整備地域の指定

2016年11月24日施行

都市の再生に貢献する優良な民間都市開発事業の促進等を通じて都市の国際競争力の強化を図る「特定都市再生緊急整備地域」に全国で13箇所目の指定を受けました。



位置図

メリケンパークの再整備

2016年度完成

「みなと神戸」の顔として、芝生広場の整備や夜間景観の演出など、快適でにぎわいのある公園へリニューアルしました。(神戸開港150年記念事業)



完成後

KOBEパークレットの整備

MAP 1

2018年度 GOOD DESIGN賞受賞 道路のリデザイン

道路における憩いやにぎわい創出のため、三宮中央通りと京町筋にパークレットを設置しました。壁面を活用した広告による協賛金を地域のまちづくり活動に充てています。

パークレットとは…

車道の一部を利用し、ベンチやテーブルを配置した誰でも自由に使うことができる空間で、日本初の取り組みです。



設置状況

GOOD DESIGN AWARD 2018

神戸ポートオアシスの建設

2017年度完成

港で働く人や市民・来街者、みなさんの多様な活動と交流の場として、周辺の歴史的建造物と調和したデザインの施設が完成しました。(神戸開港150年記念事業)



完成後



位置図

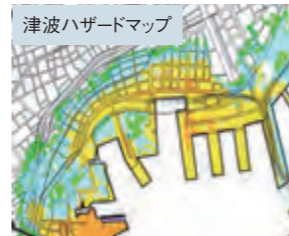
貿易センター駅

神戸ポートオアシス

津波対策の推進

2019年度完成予定

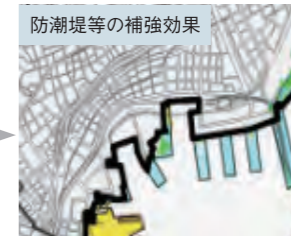
南海トラフ巨大地震に伴う津波対策として、浸水深を人命に影響を与えないとされる30cm未満に抑えるため、防潮堤等の補強に取り組んでいます。



出典：兵庫県「南海トラフ巨大地震津波浸水想定図」(2014年2月)

前提条件
兵庫県(2014年2月)
▶津波が防潮堤等を越流した場合、破堤する
▶防潮堤等の沈下を考慮
▶全ての鉄扉が開放

津波対策



出典：神戸市「南海トラフ巨大地震に伴う津波対策計画」(2015年9月)

前提条件
神戸市(2015年9月)
▶防潮堤等をねばり強い構造に補強することにより、津波が防潮堤等を越流した場合、破堤しない
▶防潮堤等の沈下を考慮
▶全ての鉄扉が閉鎖

凡例 [浸水深] ■ 5.0m以上 ■ 4.0m以上~5.0m未満 ■ 3.0m以上~4.0m未満 ■ 2.0m以上~3.0m未満 ■ 1.0m以上~2.0m未満 ■ 0.3m以上~1.0m未満 ■ ~0.3m未満

コミュニティサイクル「コベリン」の拡充

2018年度完了

複数の拠点で自転車の貸出返却が可能なコミュニティサイクルのさらなる利便性向上を図るため、ポート(貸出返却拠点)を、15箇所に拡充しました。



三宮駅前ポート

三宮プラッツのリニューアル

MAP 2

2019年度完成予定 道路のリデザイン

「にぎわい」「憩い」の拠点としてふさわしい空間になるように、リニューアルに取り組めます。

三宮プラッツとは…

2016年2月に市民投票により愛称を決定した、三宮中央通りに隣接する半地下の広場です。



位置図

三宮プラッツ

三宮駅

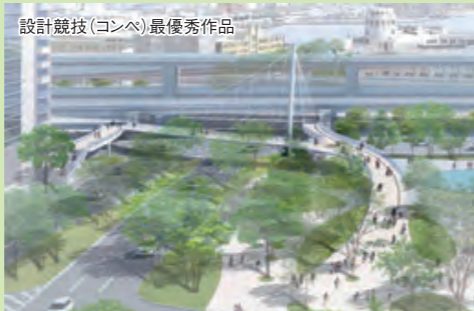
三宮・花時計前駅



その他の事項

税関前歩道橋の
リニューアル

三宮周辺地区とウォーターフロント間の回遊性向上に向け国道2号とフラワーロードが交差する税関前歩道橋のリニューアルに取り組めます。



設計競技(コンペ)最優秀作品

本庁舎2号館の再整備

老朽化が進む本庁舎2号館は魅力的な神戸らしさを発信する空間として建て替えを検討しています。周辺地区への人の流れを創出するにぎわい機能の導入や中規模の音楽ホール等の建設を予定しています。

新中央区総合庁舎の整備

現在の本庁舎3号館の場所に中央区庁舎を移転し、併せてこれまで勤労会館・葺合文化センター・生田文化会館が担ってきた文化施設としての機能が、会議室や多目的室を含めて新中央区総合庁舎として整備します。

連節バスの本格運行

都市の魅力・回遊性を高める新たな公共交通システム検討の一環として連節バスの本格運行を予定しています。



社会実験(2018年度)



光のミュージアム
凡例
2020年までに完成予定
中・長期的な事業

三宮都市模型（本庁舎2号館ロビーに展示）

フラワーロード光のミュージアムの整備 MAP 2

2020年度完成予定 道路のリデザイン
フラワーロード（税関線）において、歩道や樹木、彫刻などをライトアップする「光のミュージアム」をテーマとした、魅力的な道路空間を創出する整備に取り組んでいます。



葺合南54号線の整備 MAP 4

2020年度以降完成予定 道路のリデザイン
道路空間のリデザインの先行的な取り組みとして、歩行者が楽しみながらまちを巡ることができるよう歩道の拡幅に取り組んでいます。



東遊園地のリニューアル MAP 3

2021年度 北側のリニューアルオープン予定
都心の貴重なオープンスペースである東遊園地を、グラウンドの芝生化やにぎわい創出事業などの社会実験を通して、都心の活性化や回遊性向上の拠点として、リニューアルに取り組めます。



神戸阪急ビル東館建替 MAP 5

2021年度完成予定
阪急電鉄株が、阪神淡路大震災以後の仮設であった駅ビルの建替に2016年より着手しました。神戸の玄関口として新たなランドマークとなることが期待されています。

計画概要（予定）
〔階数〕地下3階、地上29階
〔最高高さ〕約120m
〔延床面積〕約28,500㎡
〔用途〕商業施設、オフィス、ホテル等

ビルの特徴
▶地下鉄などの連絡がより円滑に
▶1階にゆとりあるイベントスペースを確保
▶最上階に展望フロアを設置
▶ビルの低層部において、旧神戸阪急ビル東館のデザインを再生



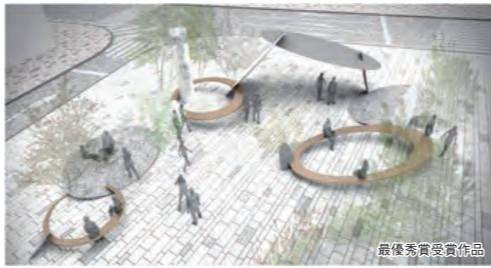
知的交流拠点の整備

2021年度運用開始予定
医療関連を含む神戸の地場企業やIT関連企業、大学、研究機関など、産学官が参画・連携し神戸の産業にイノベーションを起こすことを目指し、知的交流拠点の整備に取り組んでいます。



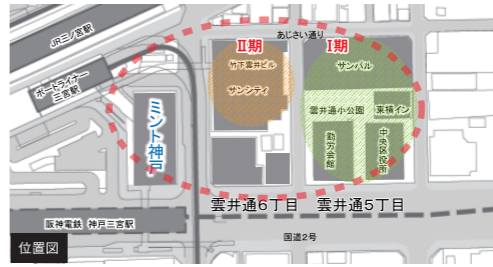
さんきたアモーレ広場の再整備

2021年度完成予定
「さんきたアモーレ広場（通称：バイ山・デコボコ広場）」は、神戸有数の待ち合わせ場所として多くの人でにぎわい、親しまれてきました。神戸阪急ビル東館開業にあわせた広場の再整備に向けて、神戸の玄関口にふさわしい、より多くの人に愛される空間となるようなデザインを募集し、220点の応募作品の中から新たな広場のデザインが決定しました。

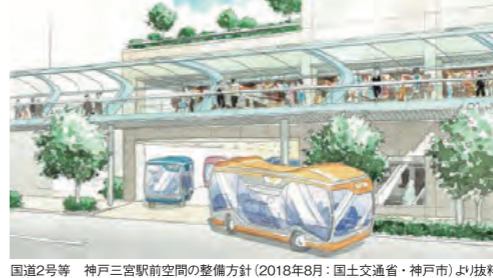


新たなバスターミナルの整備 MAP 6

2025年度頃：1期供用開始予定
三宮周辺に分散している中・長距離バスの乗降場を集約し、雲井通5・6丁目エリアとミント神戸の1階に整備されている三宮バスターミナルとの一体運用を想定した新たなバスターミナルの整備に取り組んでいます。



※イメージ図



国道2号 神戸三宮駅前空間の整備方針（2018年8月：国土交通省・神戸市）より抜粋

「三宮クロススクエア」の整備 MAP 7

2025年頃「三宮クロススクエア」第1段階整備予定
三宮にある6つの「えき」とその周辺の「まち」をつなぐ空間を、「えき〜まち空間」として、デザインにも配慮した、神戸にふさわしい玄関口にしていきます。その核として、三宮交差点を中心に、人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」の整備を進めています。

『三宮クロススクエア』の実現に向けては、
▶三宮中心部を通過する自動車交通の周辺道路への誘導
▶都心の道を人のための空間とするための、歩行環境の向上
▶分かりやすく使いやすい交通手段の導入
▶交通弱者の方や事業者の荷捌きなどへの配慮
などの検討を合わせて進め、段階的な整備に取り組めます。また、駅周辺の地下・地上・デッキレベルの歩行者ネットワークを強化するとともに、分かりやすい縦動線や滞留空間の整備により、「えき」と「まち」が平面的にも立体的にもつながり、移動しやすく心地良い「えき〜まち空間」を創出します。



「三宮クロススクエア」将来イメージ

神戸の都心の
未来の姿
[将来ビジョン]
H27.9

これから目指すべき神戸の
都心像を、わかりやすく
共感・共有しやすいものに
することに重きを置いて取
りまとめたもの

県庁舎等
再整備基本構想
R1.6
対象：県庁周辺地域

三宮周辺地区の
『再整備基本構想』
H27.9
対象：三宮駅を中心とした
半径 500m 程度の範囲

「港都 神戸」
グランドデザイン
H23.3
対象：ウォーターフロント等

神戸港
将来構想
H29.7
対象：神戸港

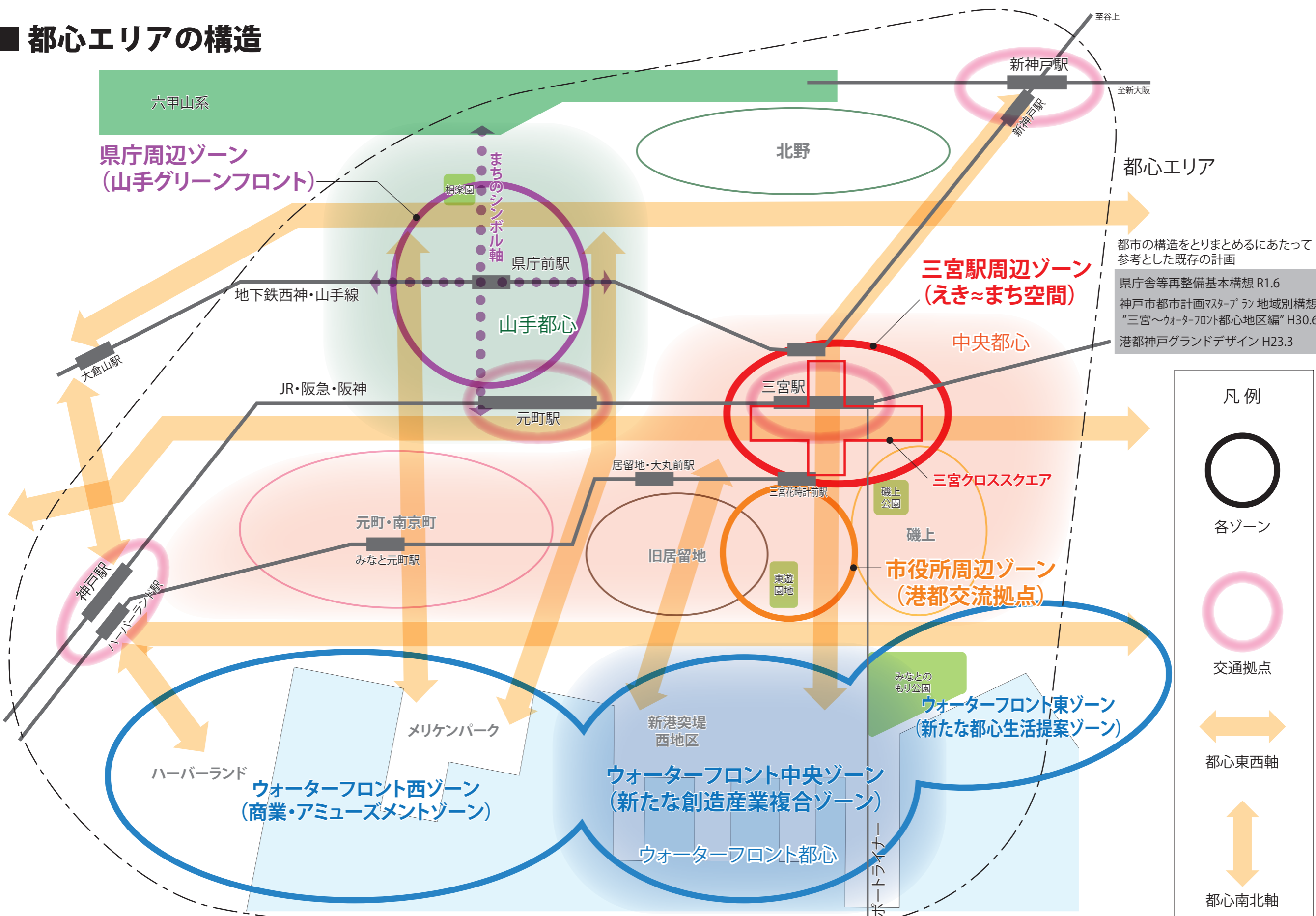
県庁舎等
再整備基本計画
検討中

新たな中・長距離バスターミナルの 整備に向けた雲井通 5・6 丁目 再整備基本計画 H30.3	神戸三宮 「えき～まち空間」 基本計画 H30.9
国道 2 号等 神戸三宮駅前空間の 事業計画 R2.3	神戸市役所 本庁舎 2 号館 再整備基本計画 R2.3

都心エリアの再整備計画に関する検討会議とりまとめ
～各プロジェクトを連携させて相乗効果を発揮する役割～

一体的な整備の実現

都心エリアの構造



都市の構造をとりまとめるにあたって参考とした既存の計画

- 県庁舎等再整備基本構想 R1.6
- 神戸市都市計画マスタープラン 地域別構想 “三宮～ウォーターフロント都心地区編” H30.6
- 港都神戸グランドデザイン H23.3

凡例

- 各ゾーン (Black circle)
- 交通拠点 (Pink circle)
- 都心東西軸 (Horizontal orange arrow)
- 都心南北軸 (Vertical orange arrow)

各ゾーンの特性と導入すべき機能例

三宮駅周辺

～駅を出た瞬間に訪れた人々が自然とまちへ誘われる、「美しき港町・神戸の玄関口」～ (えき～まち空間)

神戸の都心エリアの中心地として6つの駅とバスの乗降場が集積する交通結節点であり、目指すべき将来像として掲げる「美しい港町・神戸の玄関口“三宮”」を目指し、快適で利便性が高く、美しい景観が備わり、様々な市民活動や交流が展開される神戸の象徴となる新しい駅前空間である「えき～まち空間」のコンセプトにあった空間づくりが求められます。

「えき～まち空間」は人と公共交通優先の公共空間である「三宮 クロススクエア」を核とし、公共事業と民間事業との相互連携・調整を図り、神戸の玄関口として、ふさわしい空間を創出します。

また、商業・業務機能をはじめ、多様な都市機能を高度に集積することで、都市核を形成し、都心エリア全体の活性化につなげる役割が求められます。

特性を表すキーワード

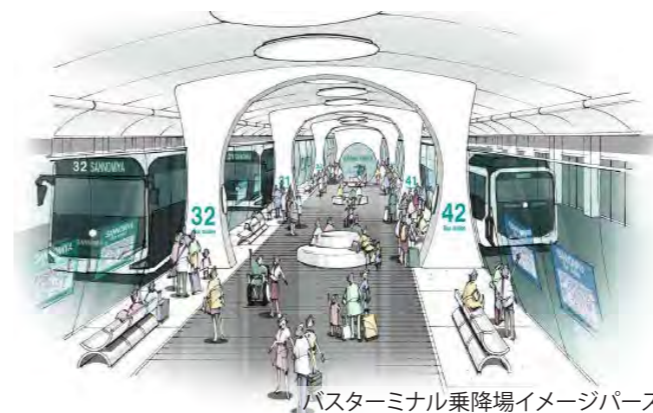
神戸の玄関口、交通結節点、都市機能高度集積地区、繁华性、えき～まち空間、三宮クロススクエア

地域資源

駅前広場、ミント神戸、神戸交通センタービル、神戸国際会館、センター街、地下街、繁华街、サンキタ、公共交通ターミナル、さんきたアモーレ広場、光のデッキ回廊 など

- 交通結節点の大幅な強化を図る西日本最大級のバスターミナル機能
- 駅に直結する利便性の高さを活かした高規格なオフィス機能や宿泊・商業機能
- 多彩な分野の大型作品公演やコンベンションなどの大型の大会や集会等にも対応できる大規模な多目的ホール機能
- 様々なジャンルの文化活動の発表の場として、また、中央区民をはじめとする市民の集会や公演などの会場として幅広いニーズにフレキシブルに対応できる中規模の多目的ホール機能

など



県庁周辺

～品格とにぎわいのあるイノベーション拠点「山手グリーンフロント」～

県庁周辺は、六甲山の裾野に位置し、相楽園、県公館、神戸栄光教会等の歴史的資産に加え、県関係団体や教育・文化施設が集積し、歴史に裏打ちされた文化的な佇まいを持っています。

行政機能、芸術文化機能の充実に加えて、にぎわい交流機能を付加し、多様な都市機能の集積と連携によって、オープンイノベーション拠点「山手グリーンフロント」を創出し、品格とにぎわいのあるまちを目指します。

にぎわい交流機能としては、民間事業者の運営による宿泊・滞在機能、オフィス機能、教育・研究機能、商業機能等の導入を想定しており、「山手グリーンフロント」のコンセプト（安全・安心、にぎわい創出、生きがいと自己実現、品格と創造、地域との調和）に適合する機能の集積を目指します。

また、それらの機能が融合することで、多様な人々の活動の場となることを目指します。

あわせて、県庁周辺再整備を契機として、元町駅周辺の再整備が進むよう、民間投資を誘導していく必要があります。

特性を表すキーワード

山手グリーンフロント、品格、閑静、傾斜地

地域資源

兵庫県庁、相楽園、兵庫県公館、神戸栄光教会、聖ミカエル教会、六甲山、諏訪山公園、兵庫県警本部、大学等の教育施設 など



将来イメージ
(プロポーザル応募時のものであり、基本計画の内容にあわせて修正予定)



相楽園



兵庫県公館



神戸栄光教会



聖ミカエル教会

- ・現在の県民会館の持つ芸術文化機能として、ホール、ギャラリー、研修室など県民の自己実現や生きがいに貢献できる施設を拡充・整備するとともに、地域や県内外の人びとが集う幅広い活動ができる場を整備
- ・「山手グリーンフロント」のコンセプトとの親和性に配慮した宿泊・滞在機能
- ・IT・金融などの先端企業からスタートアップまで多様な企業・団体が利用することを想定したオフィス・会議室機能
- ・大学・専門学校等が入居するネットワーク拠点等を導入し、若者のみならず学び直しニーズの社会人を含めた利用者を想定した教育・研究機能
- ・周辺住民の日常生活をサポートするとともに、利用者間の交流にも繋がる商業機能 など

市役所周辺

～港と都の文化、魅力、人々が交流しあう場所「港都交流拠点」～

三宮駅前とウォーターフロントの中間点に位置し、新たな神戸の港と都の文化、魅力、人々が交流しあう場所として、市役所と東遊園地を一体的に「港都交流拠点」と位置づけており、旧居留地や磯上など、周辺のまちへの回遊拠点としてにぎわいに資する機能の導入が求められます。

このことから、本庁舎としての必要な機能を確保しながら、市民や来街者に向けて、神戸らしい魅力的な文化や都市景観等を発信するとともに、周辺のまちづくりの活性化を牽引する、シンボリックな空間の整備を図る必要があります。

また、都心の核となる貴重な緑のオープンスペースである東遊園地や花のまちのイメージを演出する神戸のメインストリートであるフラワーロードに面しており、それらと連携した一体的な整備を図る必要があります。

特性を表すキーワード

港都交流拠点、回遊拠点、花と緑、メインストリート

地域資源

神戸市役所、旧居留地、東遊園地、磯上、フラワーロード、神戸花時計、慰霊と復興のモニュメント、こども本の森神戸、神戸ルミナリエ、神戸マラソン、神戸まつり、アーバンピクニック、光のミュージアム、など



東遊園地から見た市役所本庁舎1号館



花と緑



税関前歩道橋イメージパース



こども本の森神戸イメージパース



東遊園地の再整備イメージパース



フラワーロード光のミュージアム

- ・旧居留地の国際交流拠点としての歴史性を踏まえた国際都市神戸にふさわしい高質な宿泊・滞在機能やビジネス拠点
- ・市民をはじめとする国内外の来街者の新たなコミュニティを生む交流機能
- ・クラシック音楽の生音の響きを活かせる特徴ある中規模音楽ホールとしての機能
- ・神戸の文化や地域情報を発信する情報発信機能
- ・日常的にくつろげる、市民のアウトドアリビングとなる広場機能

など

ゾーンの特性

導入すべき機能例

ウォーターフロント

～ウォーターフロントを満喫できるみなとまち神戸のシンボルゾーン～ (港都神戸)

神戸の都心のウォーターフロントは、東西に広く広がっており、西・中央・東の3つのゾーンから構成されます。

西ゾーンは、ハーバーランドをはじめ、中突堤やメリケンパークなどの親水空間として、みなと神戸を象徴するゾーンであるとともに、観光クルージング拠点として活用されており、将来的にも商業、宿泊、観光、レクリエーション等の機能を中心とした商業・アミューズメントゾーンとして機能強化を図っています。

中央ゾーンは、陸の玄関口である三宮駅からも神戸のメインストリートであるフラワーロードと直結し、海や山を見渡せる優れた眺望景観など、ウォーターフロントのコアゾーンとしての高いポテンシャルを活かした新たな創造産業複合ゾーンの形成を図っています。

東ゾーンは、H A T神戸の大規模な居住機能を中心とした新たな都心生活提案ゾーンの形成を図っており、都心エリアとしては、東ゾーン西側の研究・業務複合エリアが含まれ、新たな複合的都市機能の導入を図ります。

特性を表すキーワード

海の玄関口、ウォーターフロント、港都神戸、観光、リゾート性、親水空間

地域資源

神戸ポートタワー、メリケンパーク、クルーズ船、神戸ハーバーランド、
 楡型突堤、神戸税関、KIITO、レンガ倉庫、水際プロムナード、
 みなとの森公園（神戸震災復興記念公園）、ポートターミナル、みなと神戸花火大会 など



メリケンパーク(夜景)



新港突堤西地区(第1突堤基部)再開発事業イメージパース



上空から見た神戸港



連節バスイメージパース



KIITO



中突堤再整備イメージパース

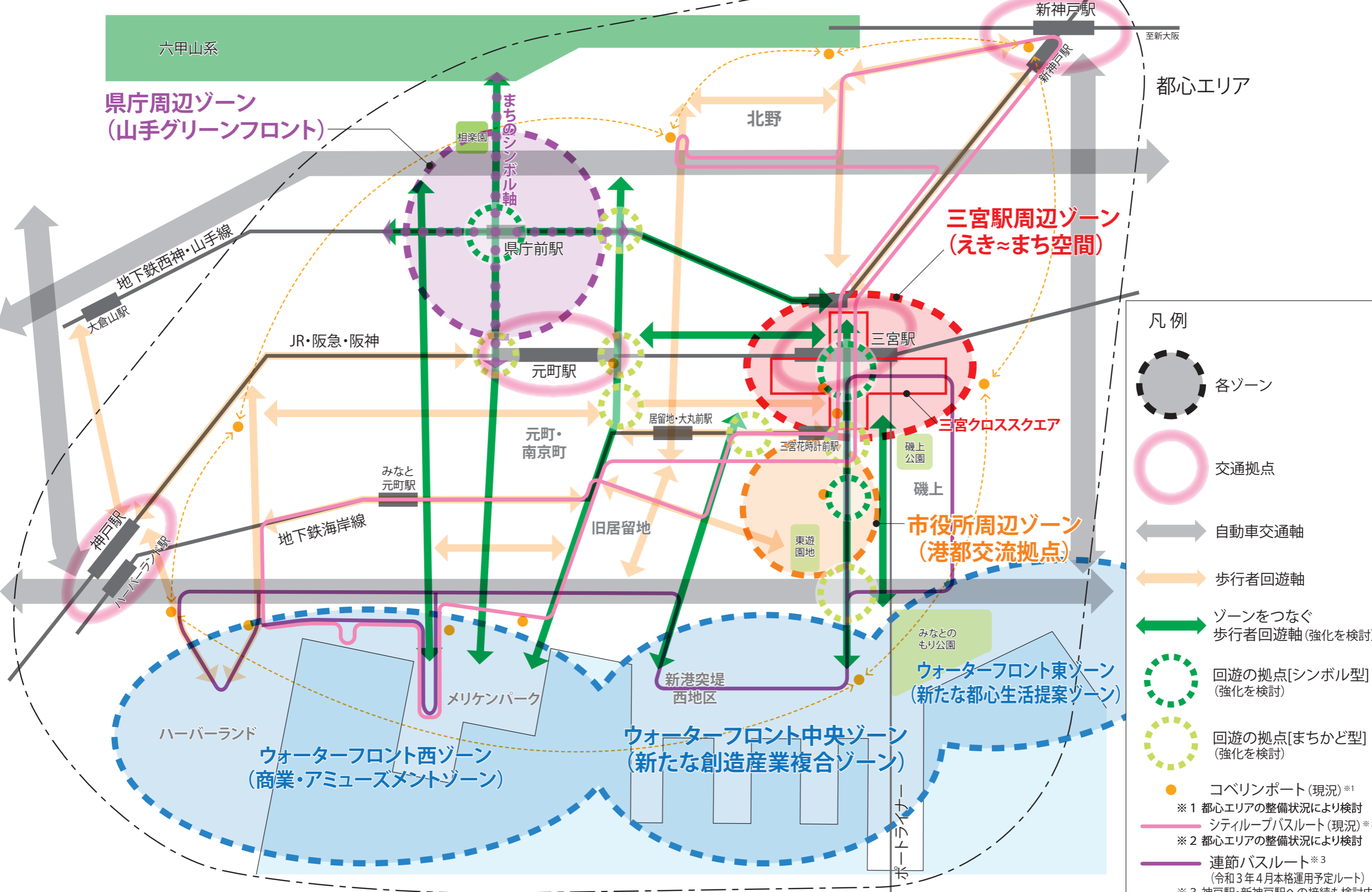
ゾーンの特性

導入すべき機能例

西ゾーン ・商業アミューズメントゾーンとしての商業、宿泊、観光、レクリエーション機能
 ・“みなと神戸”を象徴するランドマークを有する観光エントランスエリアとしての観光・クルーズ機能 など

中央ゾーン ・海上交通のターミナル機能
 ・ウォーターフロント都心としての創造産業や、商業、業務、観光居住機能 など

4つのゾーンをつなぐ回遊ネットワークの形成



**主要な取り組み
神戸市の資料より**

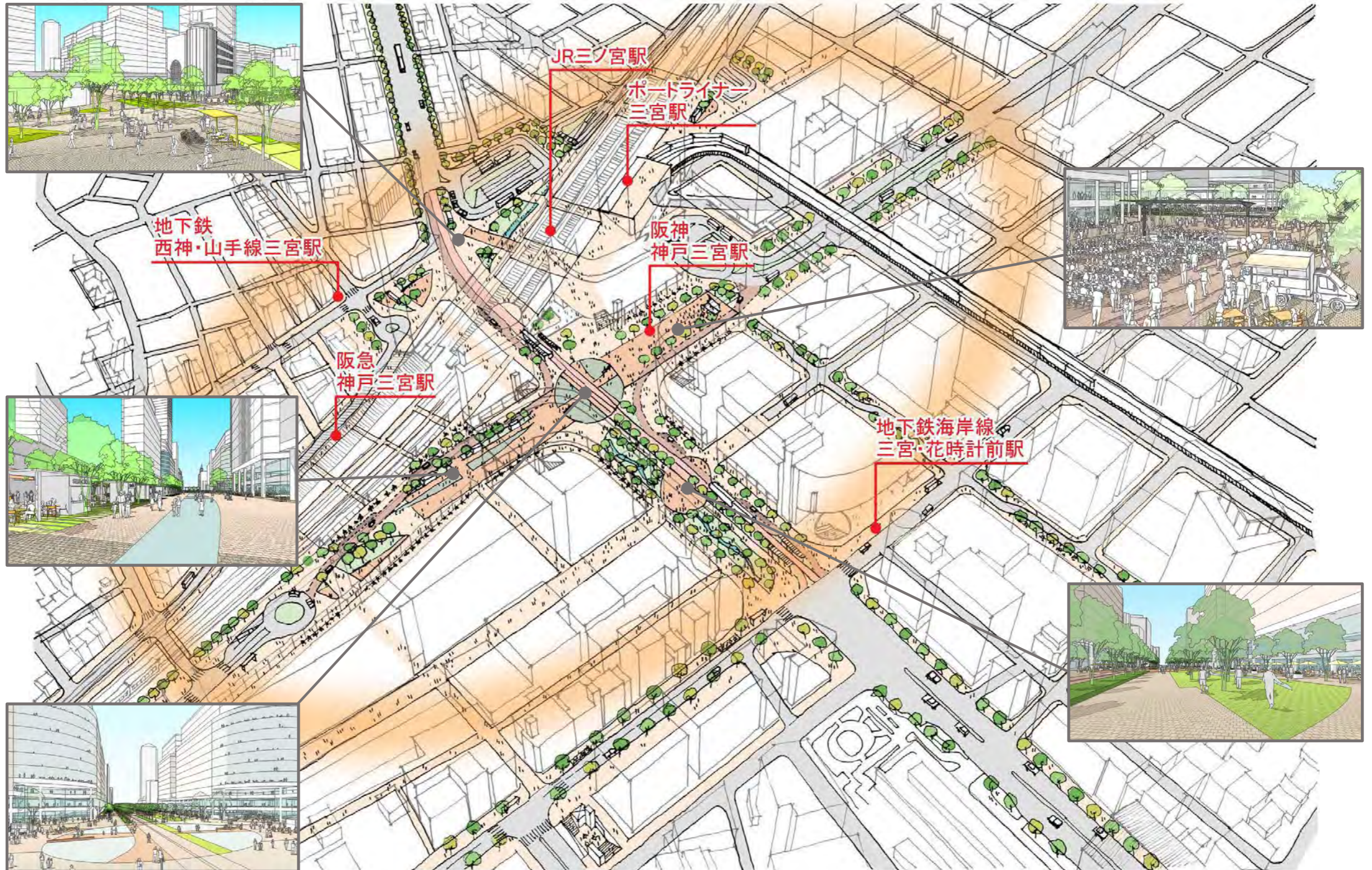
都心三宮再整備 主要プロジェクト

- 整備完了
- 整備中
- 計画段階



『えき～まち空間』

- ① 三宮の6つの駅があたかも一つの大きな「えき」となるような空間
- ② 「えき」と「まち」が行き来しやすく、より便利で回遊性を高める空間
- ③ 美しき港町・神戸の玄関口にふさわしい象徴となる空間



JR 東駅前広場の
新設

JR 北駅前広場の
拡充

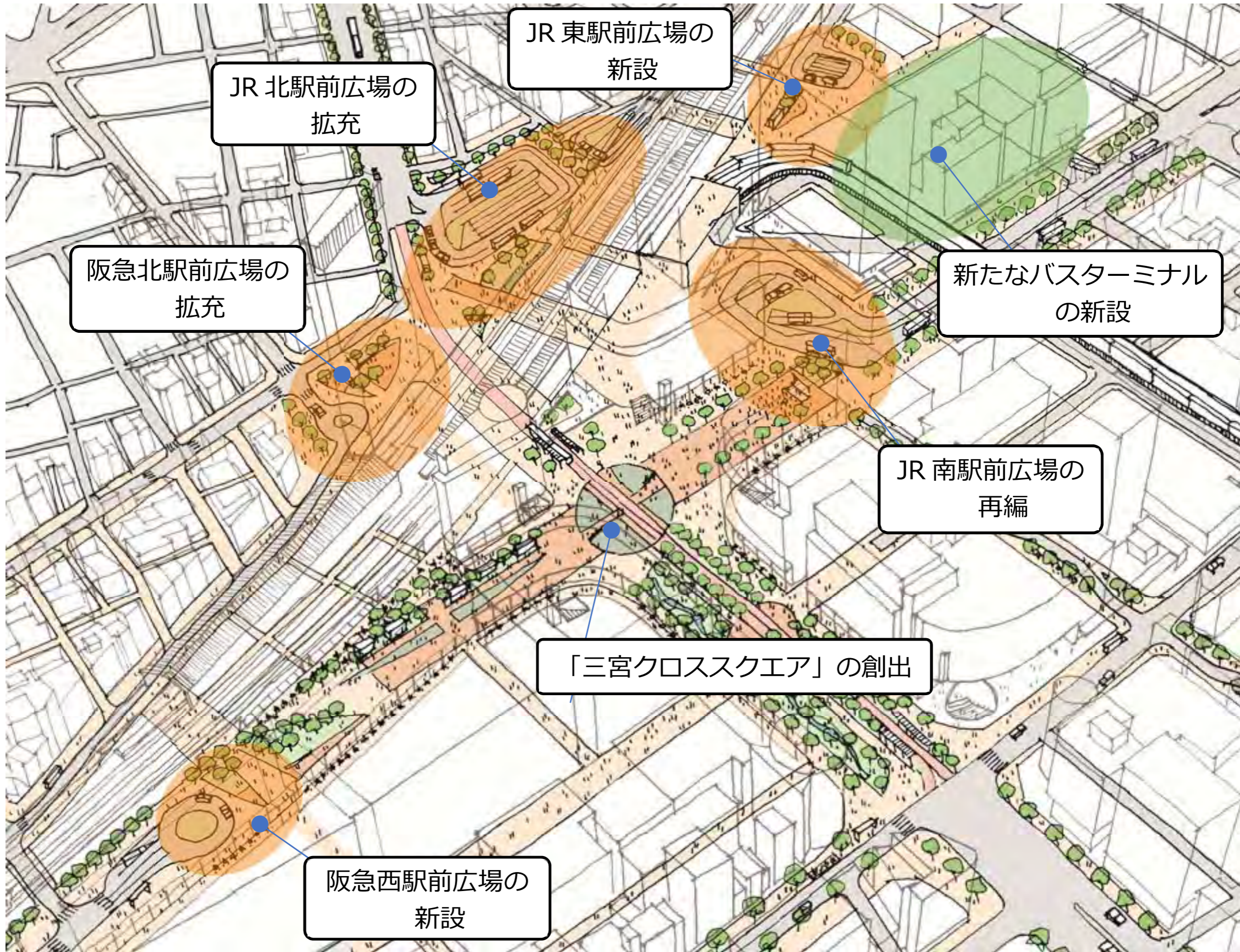
阪急北駅前広場の
拡充

新たなバスターミナル
の新設

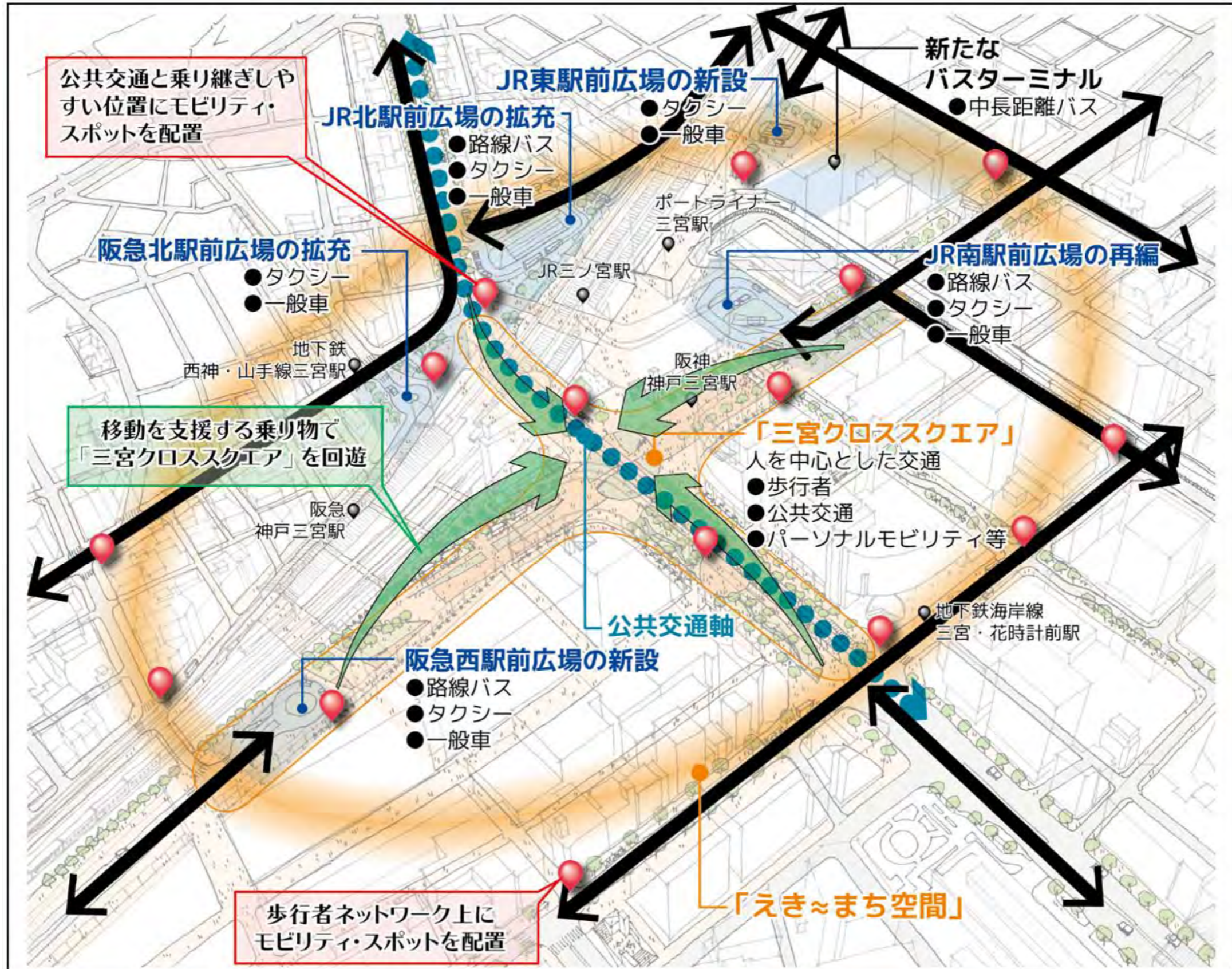
JR 南駅前広場の
再編

「三宮クロススクエア」の創出

阪急西駅前広場の
新設



<「えき～まち空間」における移動のイメージ>



凡例



寄り付き交通動線



モビリティ・スポット



公共交通軸



移動支援



東遊園地再整備基本設計（案）全体図

にぎわいのある「人が主役」の公園

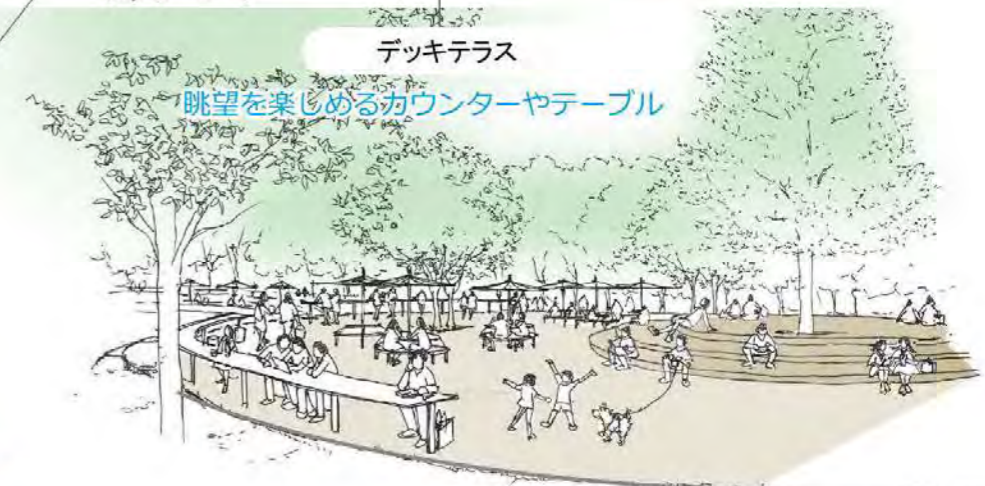


東遊園地が
多様な世代が集う "アウトドアリビング" として
親しまれるように、
居心地の良さを高める空間をしつらえます

【基本的な考え方】

- 1 東遊園地が、様々な世代の様々な利用を柔軟に受け止める "しなやかな器" となるように固定式のベンチだけでなく、持ち運び可能なイスや、多目的に利用できる縁台型のベンチ等を多く導入します
- 2 芝生や樹木などのみどりの魅力を最大限に活かせるように、芝生ひろばの周りやデッキテラスなどの眺めの良い場所や心地良い木陰にベンチ等を設置します。
- 3 四季の変化や時間の変化に応じて、いつでも快適に過ごせるように、にぎわい拠点施設の運営とも連携して、可動式のパラソルやテーブルなどを設置します。
- 4 デザインや素材に配慮し、固定式・可動式のファニチャーや建築物についても統一感を持たせます。

- 固定式中心のエリア
- 可動式中心のエリア
- 可動式と固定式併用のエリア
- 日除け



(仮称)こどものための図書館

「(仮称) こどものための図書館」は、建築家の安藤忠雄氏から神戸市に対して寄付されるもので、「こどもたちが命の大切さを学び、豊かな感性と創造力を育む場」を基本コンセプトとし、神戸のこどもたちが、都心の公園の中で自由に本にふれあうことで、神戸の歴史や文化に出会い、震災の教訓から命の大切さを学び、創造力を育めるような施設として整備します。また、市では既存施設や周辺の園地を再整備することで、南側エリア全体をこどもと花の空間としていきます。

■施設概要

建築面積：約 600 m²

延床面積：約 600 m²

蔵書数：概ね 2 万 5 千冊程度

絵本を中心に、図鑑、写真集、
児童文学、震災・神戸関連の
ものを揃える



イメージパース

(安藤忠雄建築研究所提供)

税関前歩道橋

三宮周辺地区とウォーターフロントの再開発とあわせて両者の回遊性を高めるため、国道 2 号とフラワーロードが交差する税関前交差点において、『渡りたくなる歩道橋』をテーマに、斬新で高いデザイン性を持ちながら、構造面及び施工面においても実現性の高い歩道橋を実現するために、平成 30 (2018) 年に設計コンペを実施してデザイン等を決定しました。

東遊園地の南側エリアとみなとのもり公園、新港突堤西地区とをつなぎ、緩やかなカーブの平面形態と主塔・吊り構造のケーブルなどが織りなす曲線的なデザインが美しい新歩道橋は、令和 5 (2023) 年春に完成予定です。



イメージパース

にぎわい拠点施設 (仮称) URBAN PICNIC

平成 27 (2015 年) から実施した社会実験の成果などを受けて、神戸市では市の許可を受けた民間事業者が出資して公園施設を整備・運営する制度 (Park-PFI) の導入を決定し、令和元 (2019) 年に事業者の公募を行ない事業者が決まりました。

東遊園地が市民みんなのキャンパスとして、繰り返し訪れて楽しむ公園へと発展するため、拠点施設をはじめとする公園全体において、イベント・プログラムの開催や、市民の自由なアクティビティを促進するものです。施設は、多様な性格をもつ広場等に面し、フラワーロード側からも芝生広場側からも来場者を迎え入れる拠点として計画します。

■施設概要

PARK KICHEN

カフェ&レストラン

「都心の公園を楽しむ」をテーマに飲食の提供と、公園で使えるグッズの貸出拠点。日中はテイクアウトをメインとし、公園全体の快適な滞在利用をめざす。

OUTDOOR LIBRARY

屋外図書館

社会実験期間中の寄贈本に加え、今後も市民からの本の寄贈を継続し、配架予定。本は公園内で自由に読めるよう貸し出すほか、本をツールとしたプログラムの開催も企画。

LOUNGE

貸しスペース 1

芝生広場に面した約 60 席が配置できる会議室。企業のプロモーションや芝生広場と一体に利用したイベント・プログラムの開催も予定するほか、カフェの客席としても利用予定。

STUDIO

貸しスペース 2

少人数の会議や小セミナー等で使える貸しスタジオ。芝生広場に面したデッキと一体に使う小さなプログラム開催も可能。

PARK CENTER

事務所

拠点施設の貸出業務の受付や公園内で実施する公園の魅力を高めるプログラムの企画実施拠点。また、市民からのプログラムを募集、開催サポートする拠点ともなる。



にぎわい拠点施設「URBAN PICNIC」

イメージパース (整備・運営事業者提供)

延床面積：約 200 m²
鉄骨造・平屋建て
整備・運営主体：
株式会社村上工務店、
株式会社ティーハウス建築設計事務所、一般社団法人リパブルシティイニシアティブ

※イメージパースはいずれも検討段階のものであり、今後変更になる可能性があります。

特別用途地区(都心機能誘導地区)の概要

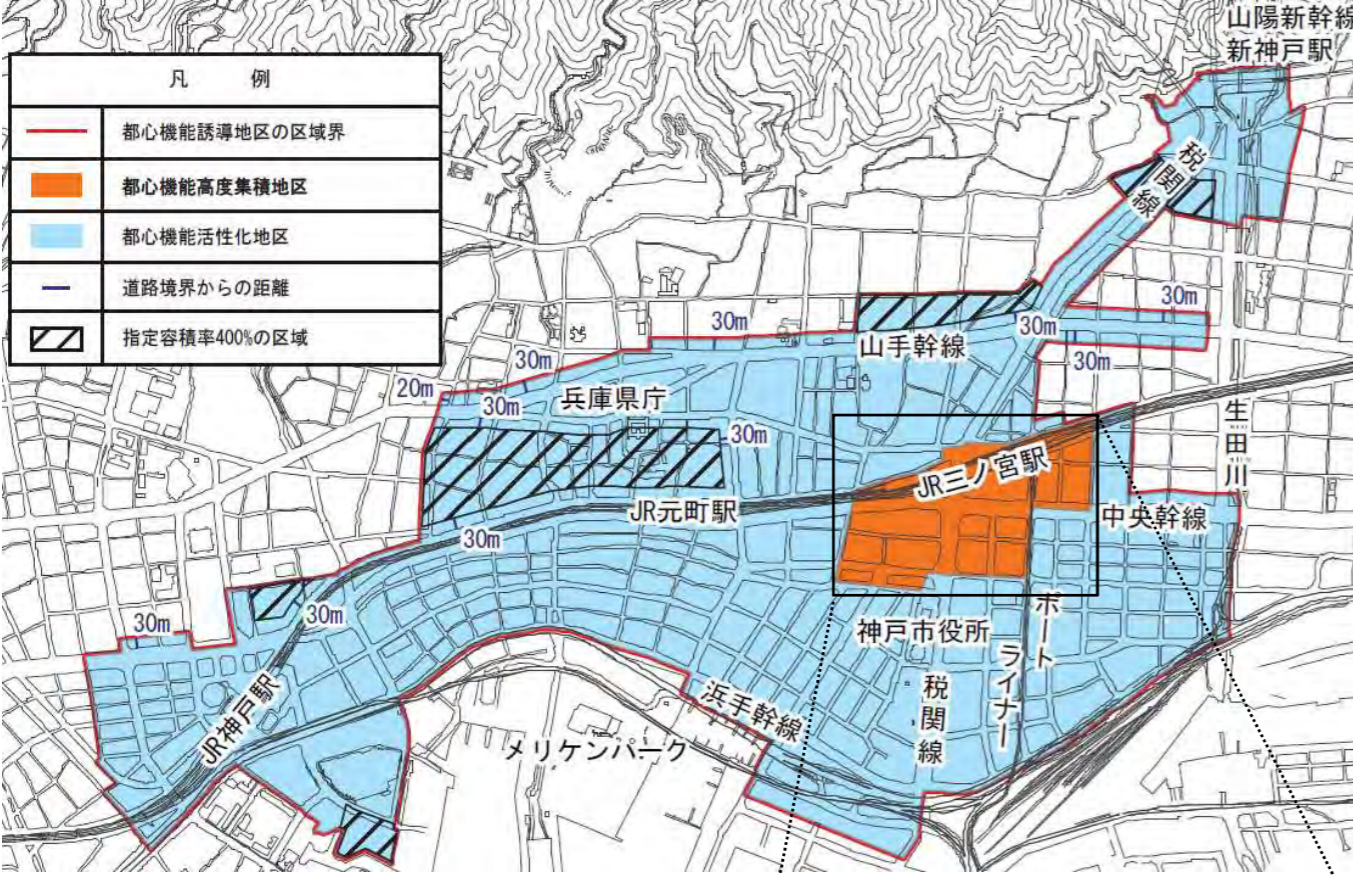
～令和2年7月1日より制限が施行されます～

多様な都市機能と居住機能とのバランスのとれた魅力と活気あふれる都心づくりをめざして、平成30年11月に都心の土地利用誘導施策をとりまとめ、平成31年3月5日に都市計画法に基づき、都心の商業地域に特別用途地区(都心機能誘導地区)を指定。令和元年7月4日、神戸市民の住環境等をまもりそだてる条例により、その区域の制限に関して必要な規定を定めました。



※用途地域や指定容積率等の変更はありません。

特別用途地区の内容



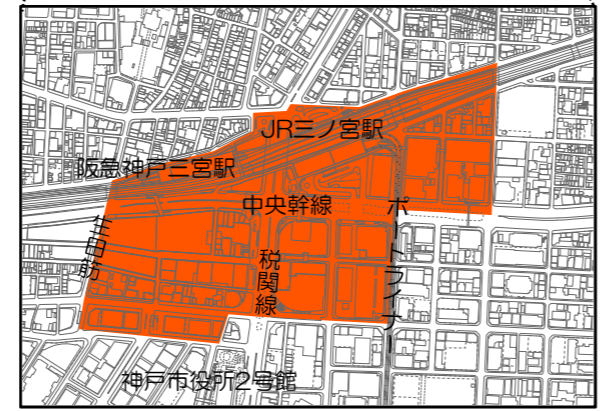
(1) 建築制限の内容

都心機能高度集積地区	住宅等*の建築を禁止
都心機能活性化地区	住宅等の用途に供する容積率の上限を400%とする ただし、敷地面積1000㎡未満はこの制限が適用除外

(例) 指定容積が600%の場合

住宅等	400%
その他機能	200%

※全体で600%まで建築可能ですが、住宅等の容積率は400%までしか建築できません。

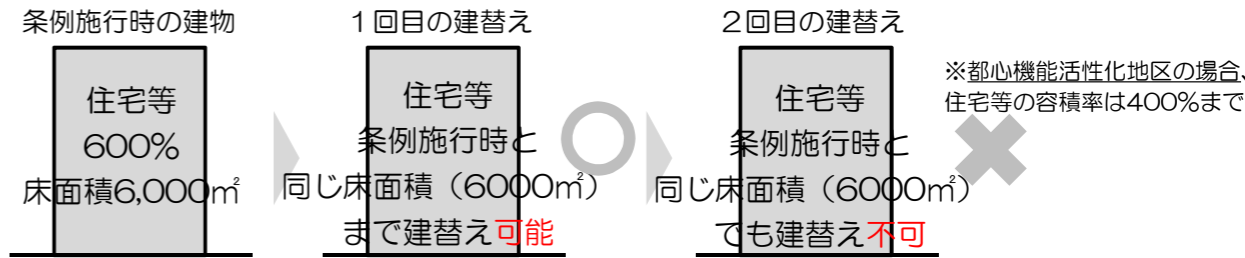


※詳細な区域については、都市局計画部指導課に備え付けの「ゆーまっぷ」でご確認下さい。

(2) 既存の建築物(建築基準法第3条第2項に規定する建築物)に対する取扱い

- ①基準時(条例施行時：令和2年7月1日)に存する建築物を除却し、その敷地に建築物を**新築(建替)**する場合で、住宅等の用途に供する部分の床面積の合計が基準時より増加しないものについては、本制限を適用しません。

【建替え例】基準容積率が600%(敷地面積1000㎡)の場合



なお、総合設計制度を適用している建築物等については、別途取扱いが定められています。

- ②一定の範囲内での**増築・改築、大規模な修繕・模様替**については行うことができます。

一定の範囲【増築・改築等に対する緩和の規定】

- ◎増築・改築⇒以下の条件を全て満たす場合、増築・改築が可能。
 - ・基準時点の敷地面積に対して増改築後の容積率・建蔽率が現時点での建築基準法の規定に適合すること
 - ・増築後の床面積の合計が基準時点における床面積の合計の1.2倍を超えないこと
 - ・増築後の条例不適合部分の床面積の合計が、基準時点における当該部分の床面積の1.2倍を超えないこと
 - ・用途の変更を伴わないこと
- ◎大規模な修繕・模様替⇒用途の変更を伴わない場合に限り可能

※「住宅等」とは(都心機能誘導地区における定義)

- ①建築基準法別表第2(イ)項第1号から第3号に掲げる建築物
住宅・兼用住宅・共同住宅、寄宿舍又は下宿
- ②建築基準法第52条第3項に規定する老人ホーム等
老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するもの(居住のための施設としての継続的入所施設である社会福祉施設、有料老人ホーム及び更生保護施設)

■ その他都市計画制度(都市再生特別地区)による制限緩和

都心機能高度集積地区については、民間事業者から都市計画提案制度を活用してSOHO(オフィス兼用住宅)やホテルレジデンス(ホテルサービス付き住戸)など駅前の業務機能の高度な集積に一定寄与すると考えられる用途を含む事業提案があった場合は、その必要性を判断したうえで、都市再生特別地区の指定により一部導入を認めています。

(問い合わせ先) 神戸市役所 TEL: 078-331-8181 (代表)

- ・特別用途地区(都心機能誘導地区)の指定に関して ⇒ 都市局 都市計画課
- ・具体的な建築計画、既存不適格建築物の取扱いに関して ⇒ 建築確認申請を出される指定確認検査機関等

都心の土地利用誘導施策 検討の経緯

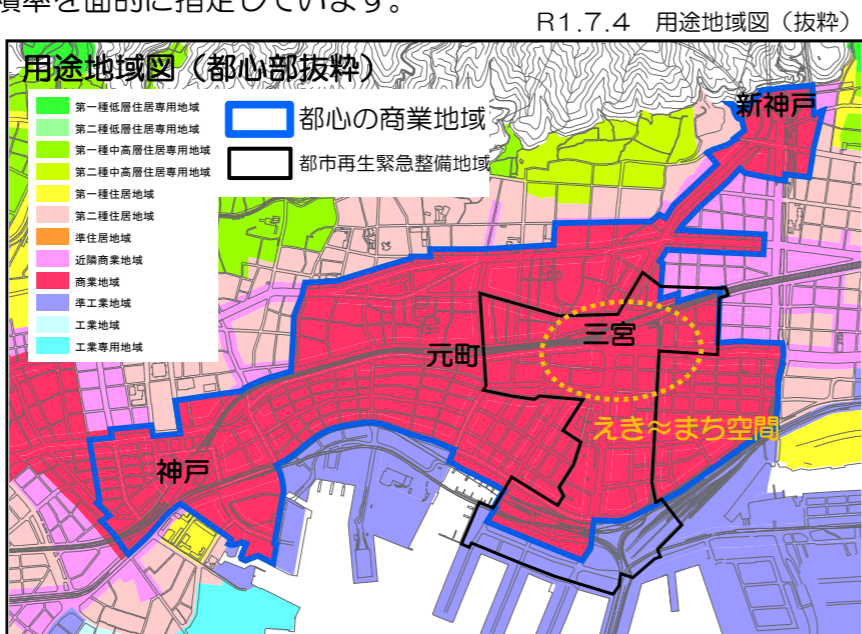
1. 背景

神戸の都心の商業地域は、神戸市都市計画マスタープランで「高度商業・業務地」に位置づけられており、商業、業務、行政、文化、観光など、多様な都市機能を高度に集積させるため、市内の他のエリアと比べて高い容積率を面的に指定しています。

しかし、近年、都市機能の充実や交通利便性の高さなどから、高容積率を活用した大規模マンションが多く建設され、人口は震災前（平成2年）の約1.6倍に増加しています。

都市の活力とにぎわいを創出するためには、働く場とともに一定の定住人口が必要であり、都心においても同様です。

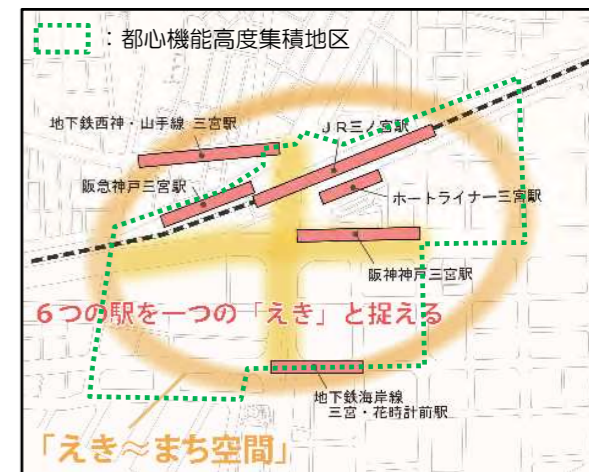
しかし、過度に居住機能が增加すると、商業・業務などの都市機能の立地阻害や小学校など子育て関連施設の不足、災害時の避難場所・備蓄のさらなる確保などの課題が懸念されるため、都市機能とバランスのとれた都心居住を誘導していく必要があります。



(特別用途地区の指定について)

定住人口が急激に増加している都心の商業地域（p.3用途地域図参照）の現状をふまえて、都市機能とバランスのとれた都心居住を誘導していくため、特別用途地区（都心機能活性化地区）を指定しています。

なかでも、三宮駅周辺は「えき〜まち空間」として、人と公共交通優先の公共空間の再整備や景観形成、多様な都市機能の集積に官民が連携して取り組み、神戸の玄関口にふさわしい高質な空間づくりを行っていくエリアです。このため、「えき〜まち空間」の範囲をベースに、商業・業務などの都市機能に特化した土地利用を誘導していくため、特別用途地区（都心機能高度集積地区）を指定しています。



特別用途地区の制限内容は、「神戸市民の住環境等をまもりそだてる条例」に定めています。⇒制限内容はp.1、p.2をご覧ください。

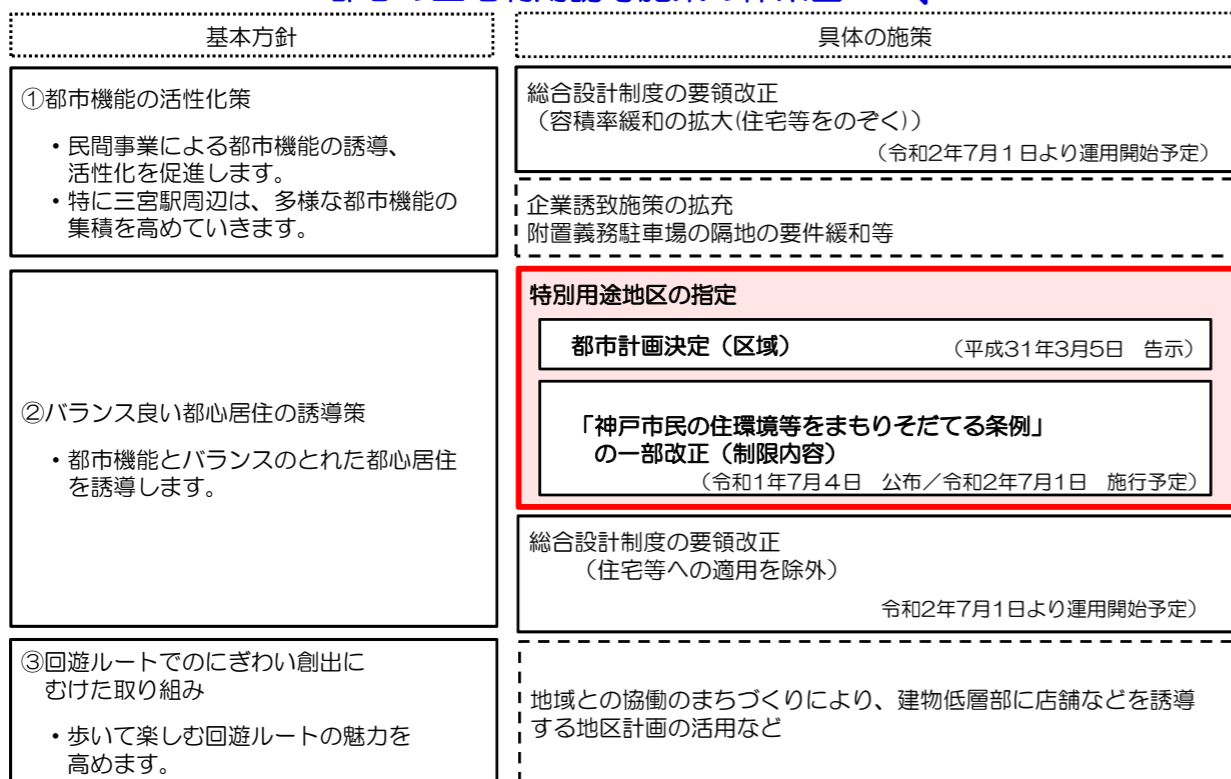
※「特別用途地区」とは？

都市計画法に基づき、地区の特性にふさわしい土地利用の増進等を図るため、用途地域を補完して定める地域地区で、区域は都市計画で定め、制限内容は建築基準法に基づく条例で定める。

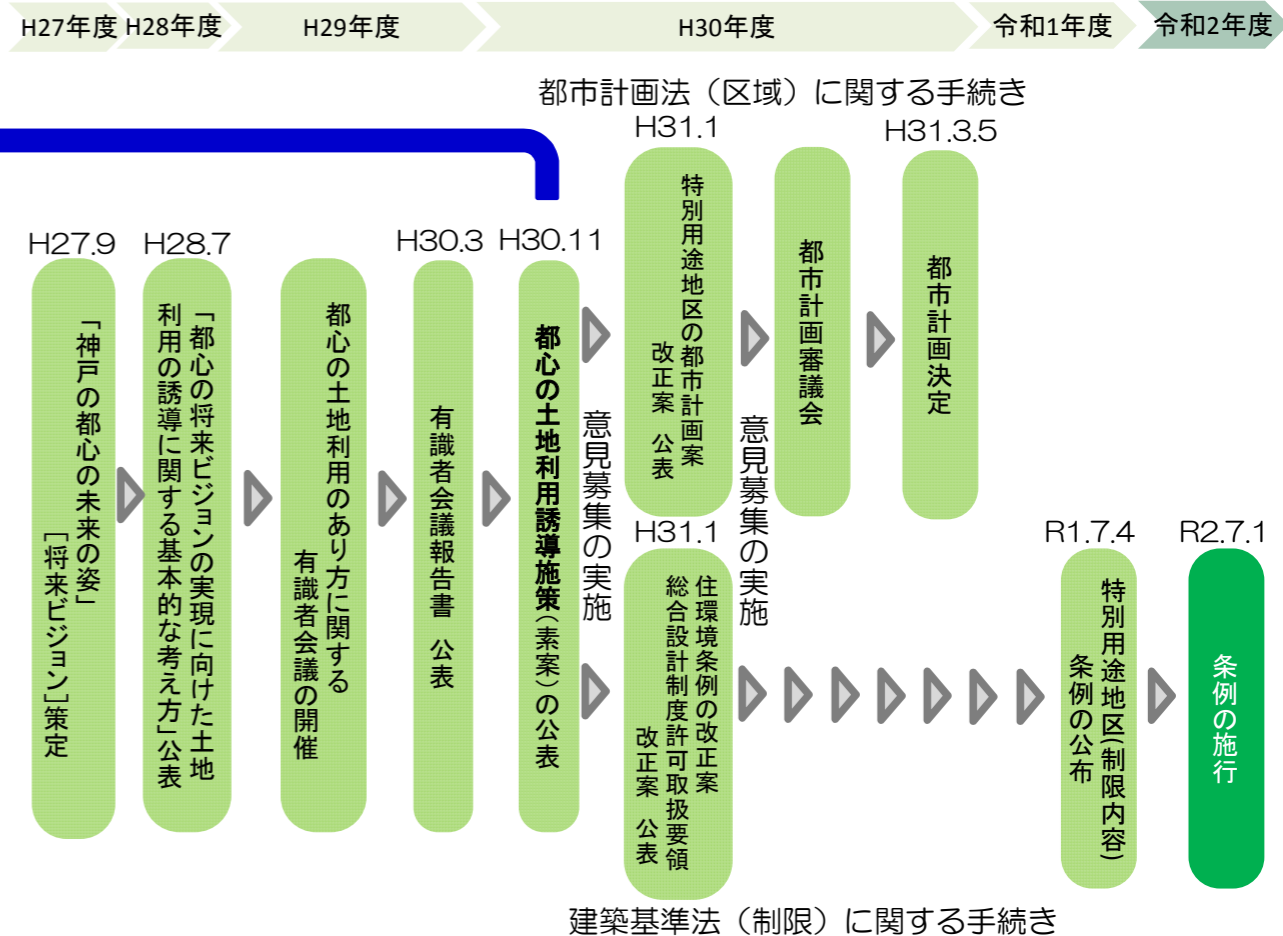
2. 都心の土地利用誘導施策

多様な都市機能と居住機能とのバランスのとれた魅力と活気あふれる都心づくりを目指して、以下の3つの基本方針と具体の施策を取りまとめ、順次実施してまいります。

都心の土地利用誘導施策の体系図



(都心の土地利用に関する検討経過)

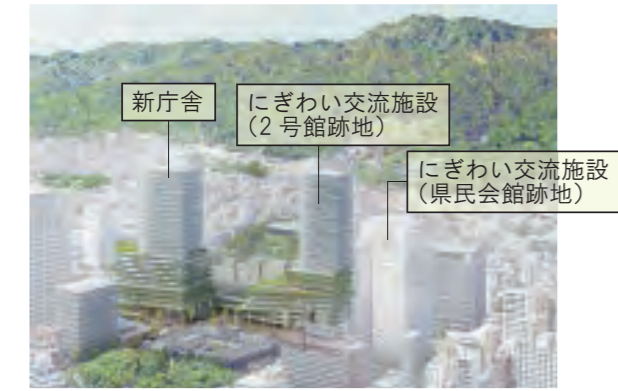


建築基準法(制限)に関する手続き

- 都市再生緊急整備地域 (平成14年10月指定) 【98ha】 (平成25年 7月拡大)
- 特定都市再生緊急整備地域 (平成28年10月指定) 【45ha】

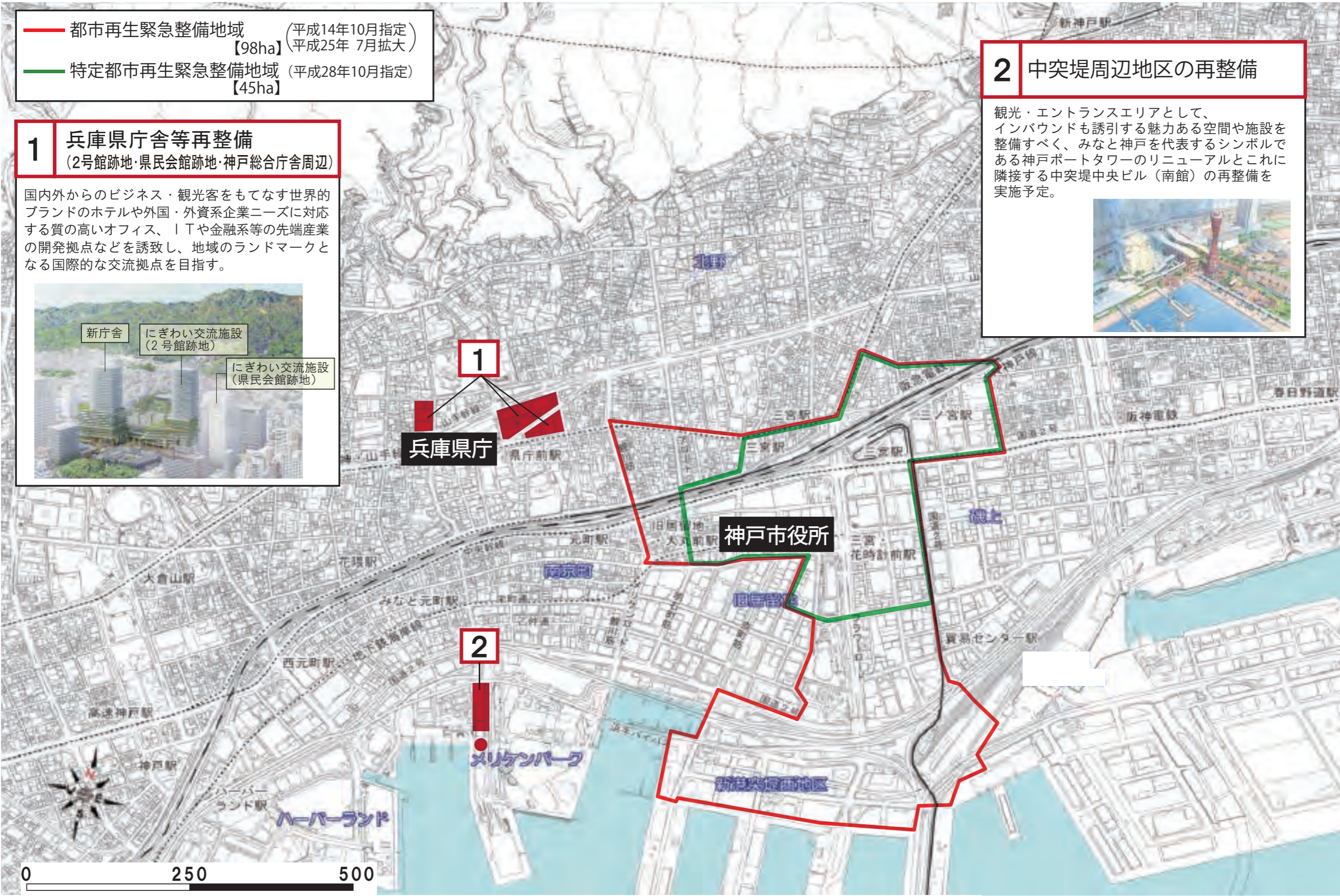
1 兵庫県庁舎等再整備 (2号館跡地・県民会館跡地・神戸総合庁舎周辺)

国内外からのビジネス・観光客をもてなす世界的ブランドのホテルや外国・外資系企業ニーズに対応する質の高いオフィス、ITや金融系等の先端産業の開発拠点などを誘致し、地域のランドマークとなる国際的な交流拠点を目指す。



2 中突堤周辺地区の再整備

観光・エンタランスエリアとして、インバウンドも誘引する魅力ある空間や施設を整備すべく、みなと神戸を代表するシンボルである神戸ポートタワーのリニューアルとこれに隣接する中突堤中央ビル (南館) の再整備を実施予定。



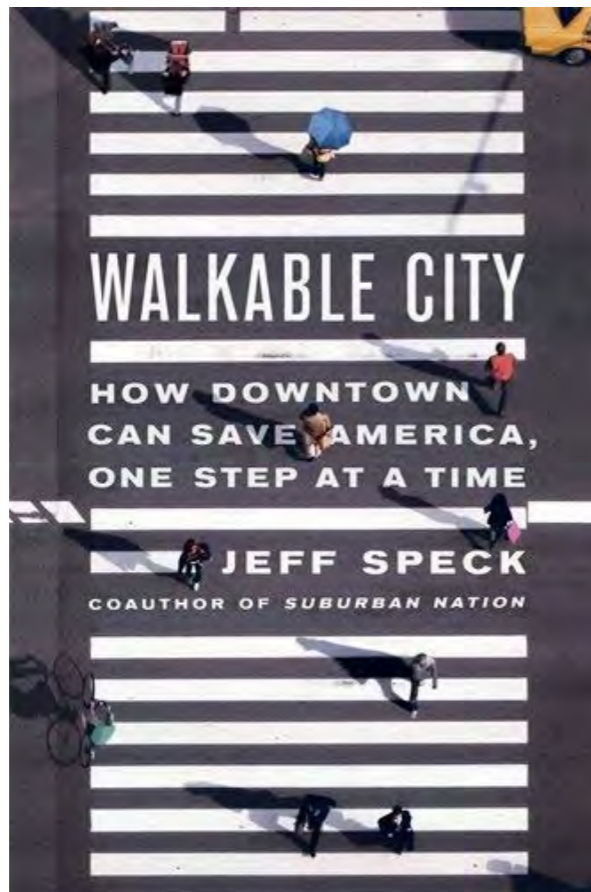
都市再生緊急整備地域の指定状況

都市空間の展開 世界の都市はなにをやっているか

Walkable City

歩きやすくコンパクトな都市空間で構成され、

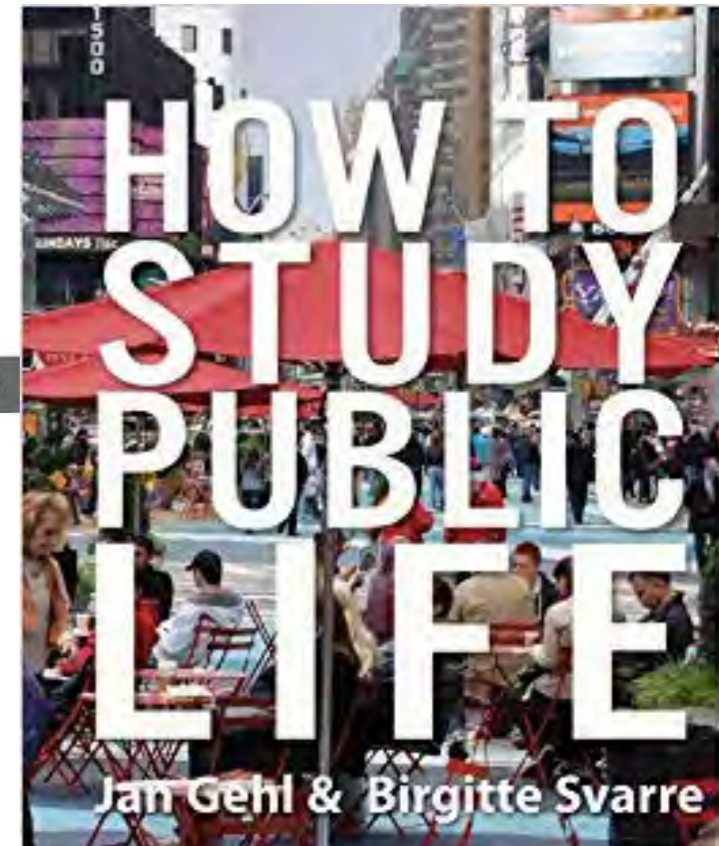
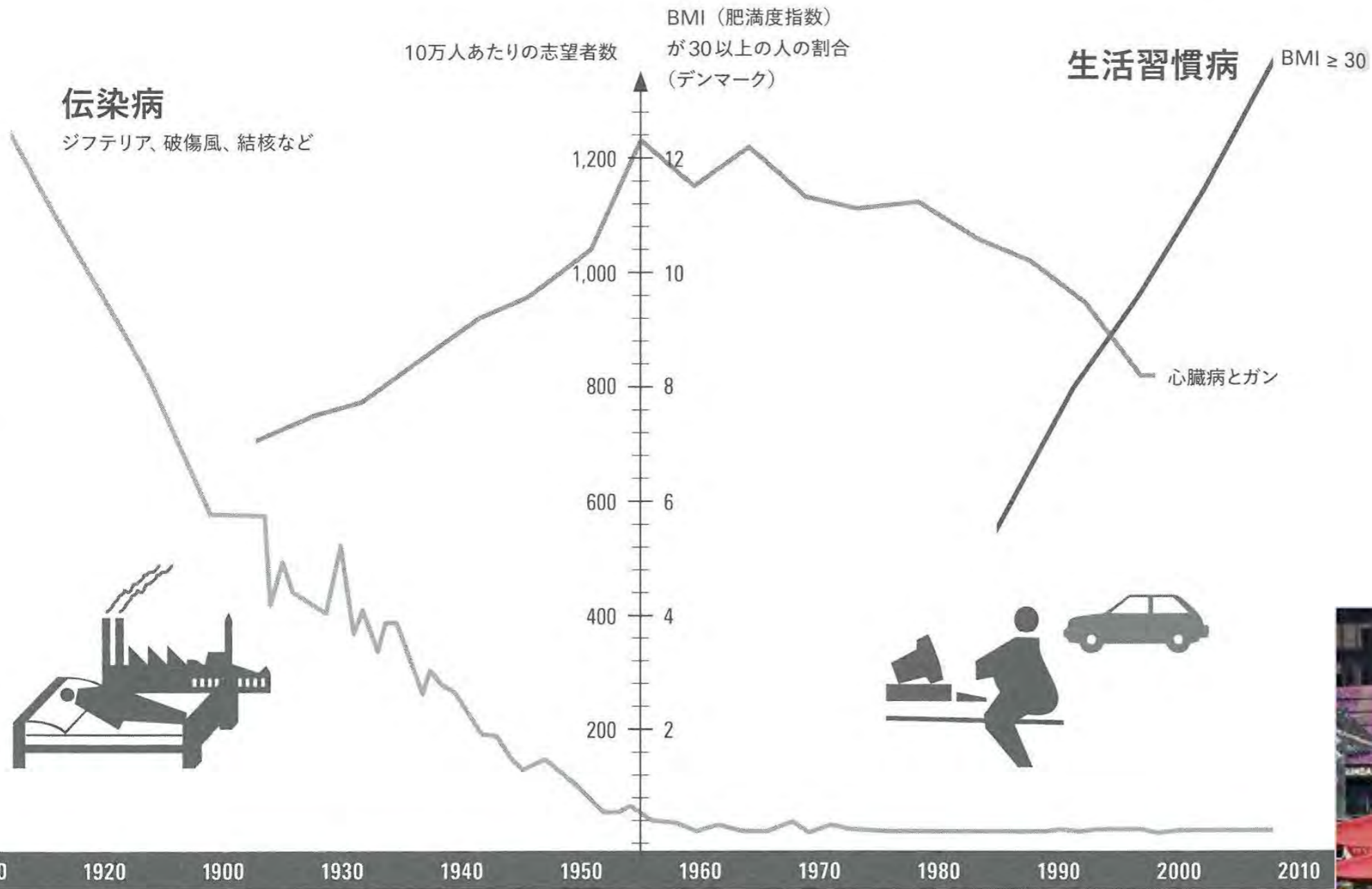
①快適な歩行空間の確保、②歩きたくなるような魅力的な都市空間、③公共交通や自転車などを組み合わせて適度な運動が可能な交通体系、④外出機会の増加により、健康の増進を図るというライフスタイル全般を視野に入れた概念



都市の成熟化における人口変化や産業構造の転換、環境負荷軽減、中心市街地活性化などの課題に対し、自動車から人中心への都市への転換を目指した都市空間の再編を図りつつ、人中心の都市空間の実現するWalkable Cityへの転換が求められている。

ポートランド、メルボルン、コペンハーゲン、ニューヨーク、パリ、台北・・・

パブリックライフ学



ある都市を思うとき、最初に心に浮かぶものは街路である。
街路が面白ければ都市も面白く、街路が退屈であれば都市も
退屈である。

(J・ジェイコブス アメリカ大都市の死と生、鹿島出版会 (1977))

機能主義に基づく
近代都市計画の批判
都市における多様性

- ①複数の機能
- ②狭く折れ曲がった街路・
短いブロック
- ③古い建物
- ④十分な人口密度





Public Spaces in Copenhagen

A guide to the public spaces in Copenhagen...

A PUBLIC SPACE GUIDE BY GEHL ARCHITECTS

GEHL ARCHITECTS
URBAN QUALITY CONSULTANTS







VENIR

Footlocker

DANISH DISCOUNT Souvenir T-Shirts

BURGER KING

SHAWARMA KEBAB PALACE PIZZA

STAMPE

STA

Copenhagen



Public Spaces in Copenhagen
GEHL ARCHITECTS



From 1962 and onwards, streets and squares were converted to pedestrian areas, which give attractive conditions for walking and recreation.

A METROPOLIS FOR PEOPLE

▶ VISIONS AND GOALS FOR URBAN LIFE IN COPENHAGEN 2015

▷ ADOPTED BY THE CITY COUNCIL



MORE URBAN LIFE FOR ALL

When we talk about a metropolis for people we mean a city for all. Copenhagen will have a varied urban life offering everybody the opportunity to participate irrespective of age, social status, ethnic background, finances or handicap.

We will prioritize daily urban life highly while at the same time creating the possibility for the secret, the eccentric and the temporary to flourish. For these reasons, we will create more urban life for everybody with a variety of urban space and activities twenty-four hours a day all the year round.

Our goal is:

By 2015, 80% of Copenhageners will be satisfied with the opportunities they have for taking part in urban life.

MORE PEOPLE TO WALK MORE

A metropolis for people is a great city to walk in. Walking is our most basic form of movement. It is easy, healthy, sustainable and costs nothing to walk instead of taking the car. It offers us the opportunity to use our senses, to go on a voyage of discovery and to meet other people. Walking is urban life. So, Copenhagen invites you to walk – in greater comfort and safety and more easily able to get from A to B.

Our goal is:

To increase the amount of pedestrian traffic by 20% by 2015 compared to today

MORE PEOPLE TO STAY LONGER

Some urban life is governed by necessity. We have to do the shopping, fetch the children, go to and from work irrespective of how the city is laid out and equipped. All the fun things, recreational life in the city, the experiences and our personal enjoyment and expressions will only happen if it is a pleasurable place to be. For this reason, we will create squares, parks, streets and waterside quays which invite more people to stay there longer - both in the city centre, in new urban areas as well as where we live and go around on a daily basis.

Our goal is:

By 2015, Copenhageners will spend 20% more time in urban space than they do today.

The City **Copenhagen**



First pedestrian promenade in 1962: 15,800 m².

Public Spaces in Copenhagen
GEHL ARCHITECTS

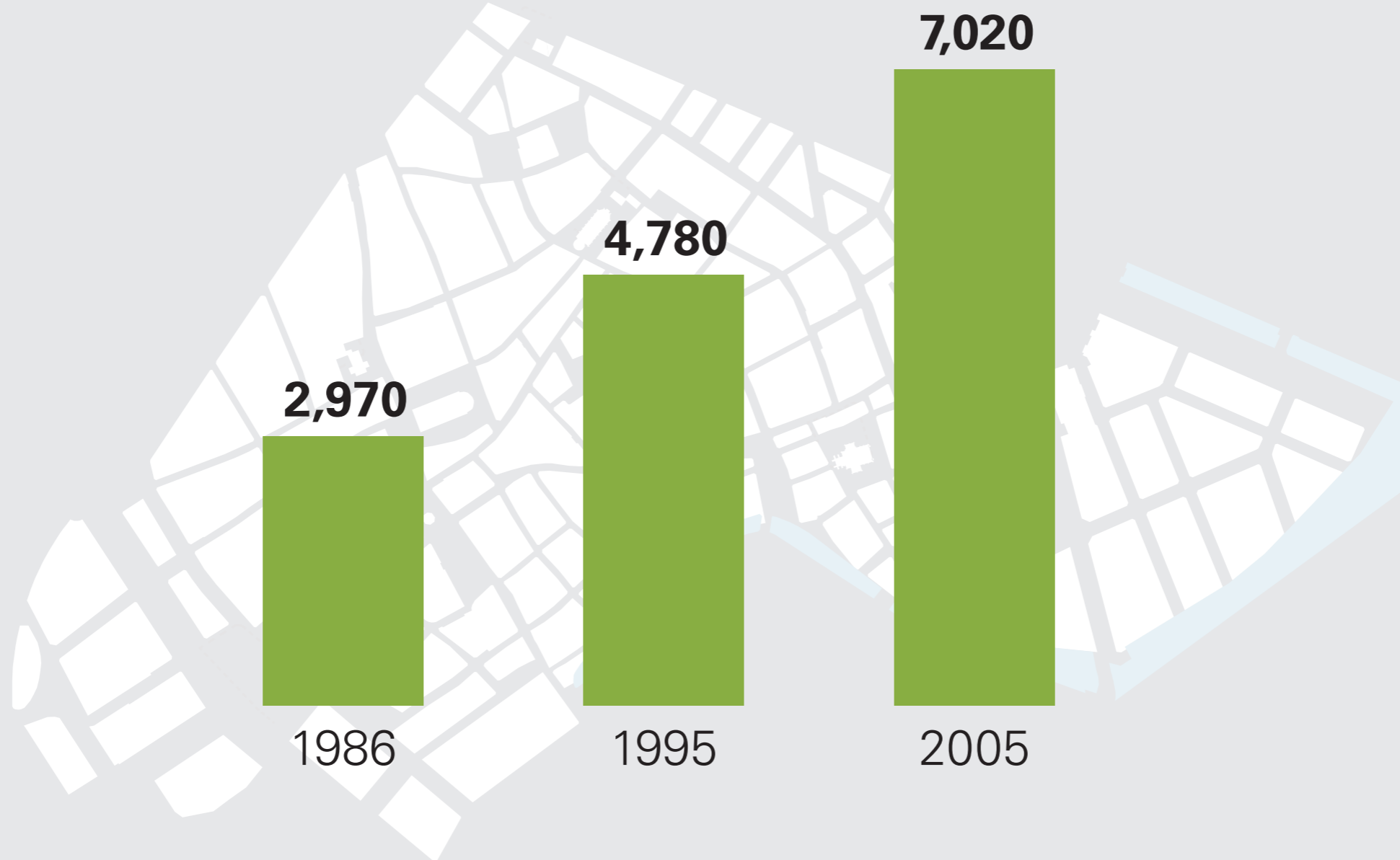


By 1973, the network of pedestrian streets connected the most important locations in the city centre: 49,200 m².



The network of car-free streets and squares in 2005: 99,770 m².

Number of café chairs throughout the inner city study area 1986-2005



*The number of café chairs rose by 61% from 1986-1995.
The number increased by another 47% from 1995-2005.*



Brønshøj Torv



Regnbuepladsen



Hauser Plads



Sankt Annæ Plads



Vimmelskaftet Strøget



Gammeltorv Strøget



Kultorget



Vesterbro Torv



Sankt Hans Torv



Bopa Plads



Strødet

THE MOST POPULAR SPOTS TO SPEND TIME

Throughout the summer of 2013, traffic counts were carried out in many of Copenhagen's squares and shopping streets where people spend time in the urban space.

On the Top 10 list of the most popular spots, Nyhavn is the urban space with the largest number of visitors. On average, there are 550 people per hour on a summer day. This are followed by the beach by Svanemøllebugten (an average of 480 people per hour) and Amagertorv in the Inner City (an average of 260 people per hour).

The recorded activities offer a snapshot of life in selected urban spaces: the extent of activities and the distribution of activities at any given time during a summer day. Thus, the count does not reflect how many people visit a given space over the course of a whole day but whether the urban space encourages people to spend some time there. Comparing the activities for the various urban spaces shows that Copenhageners engage in a wide range of activities in the urban space. The main categories include using the public benches, sitting in cafés and standing.

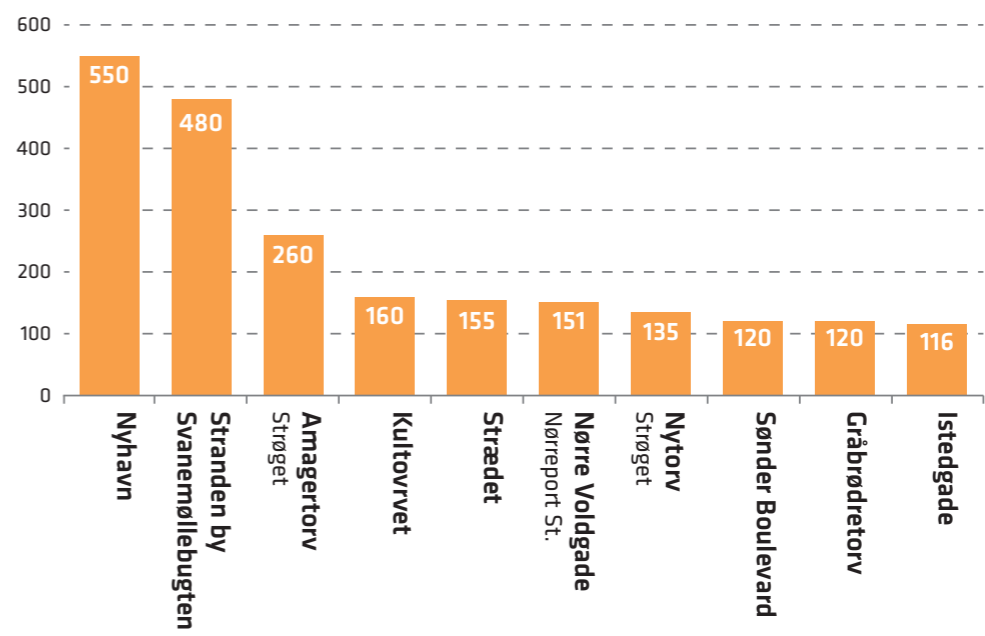
HERE, A VISIT IS DEFINED AS 'SETTLING IN FOR SOME TIME'

THE COLUMNS SHOW THE AVERAGE NUMBER OF PEOPLE SPENDING TIME IN THE URBAN SPACE PER HOUR BETWEEN 10:00 AND 18:00 IN 2013.

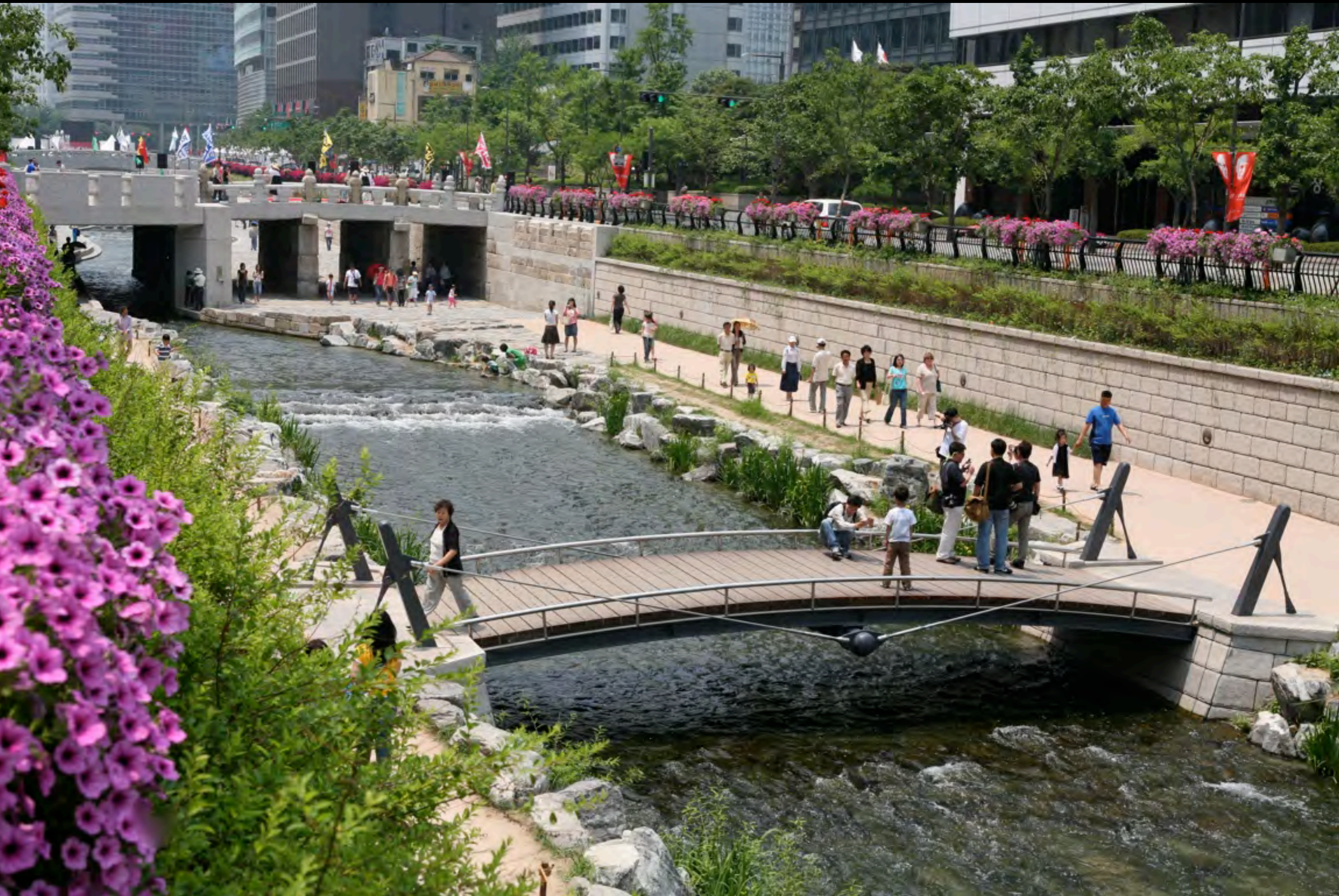


TOP 10 URBAN SPACES IN TERMS OF THE NUMBER OF VISITORS

Average number of extended visits per hour between 10:00 and 18:00



清溪川





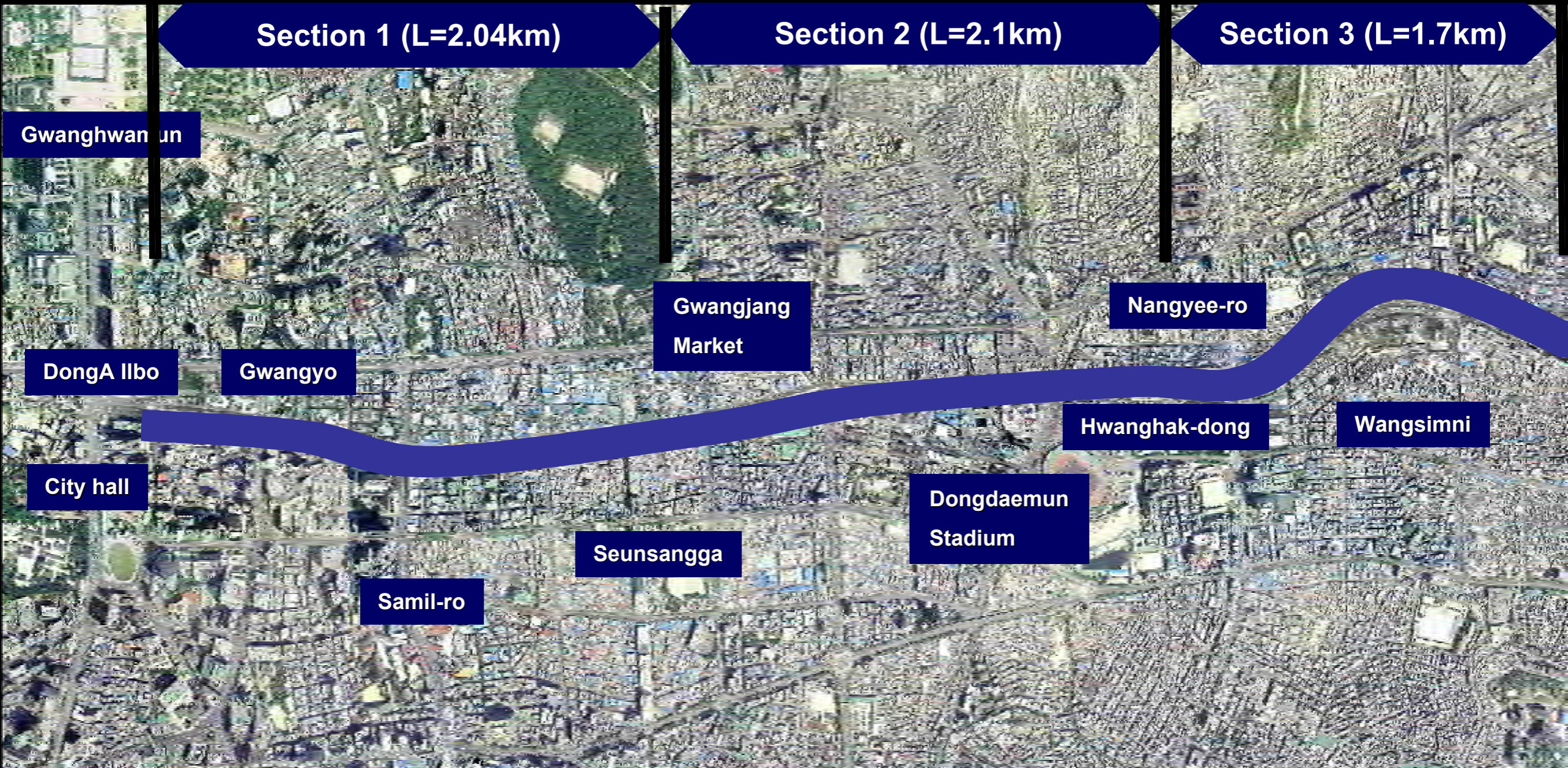
Seoul



before



after



Section 1 (L=2.04km)

Section 2 (L=2.1km)

Section 3 (L=1.7km)

Gwanghwamun

DongA Ilbo

City hall

Gwangyo

Samil-ro

Seunsangga

Gwangjang
Market

Dongdaemun
Stadium

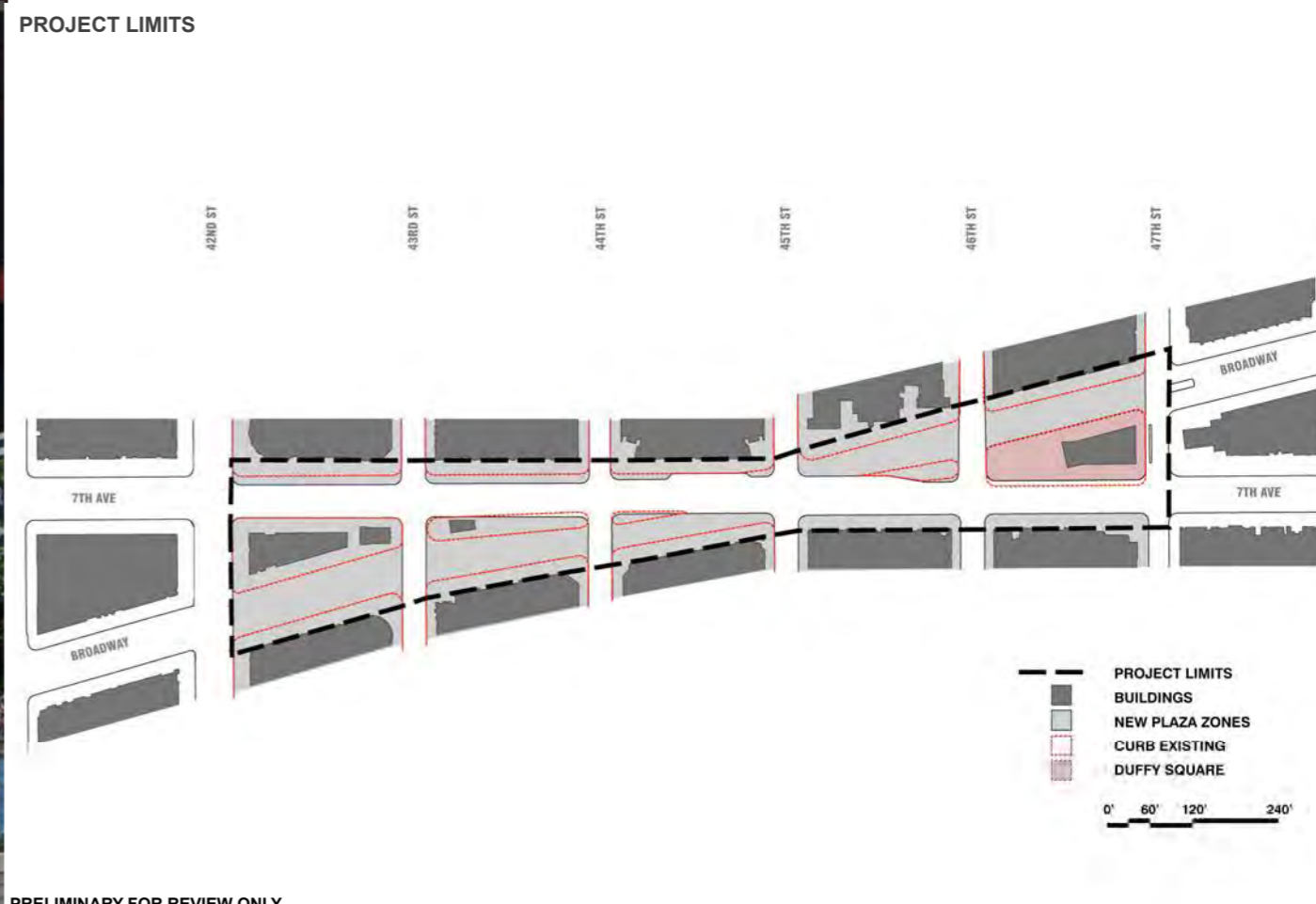
Nangyee-ro

Hwanghak-dong

Wangsimni









New York High Line



BLUEPRINT FOR AUTONOMOUS URBANISM

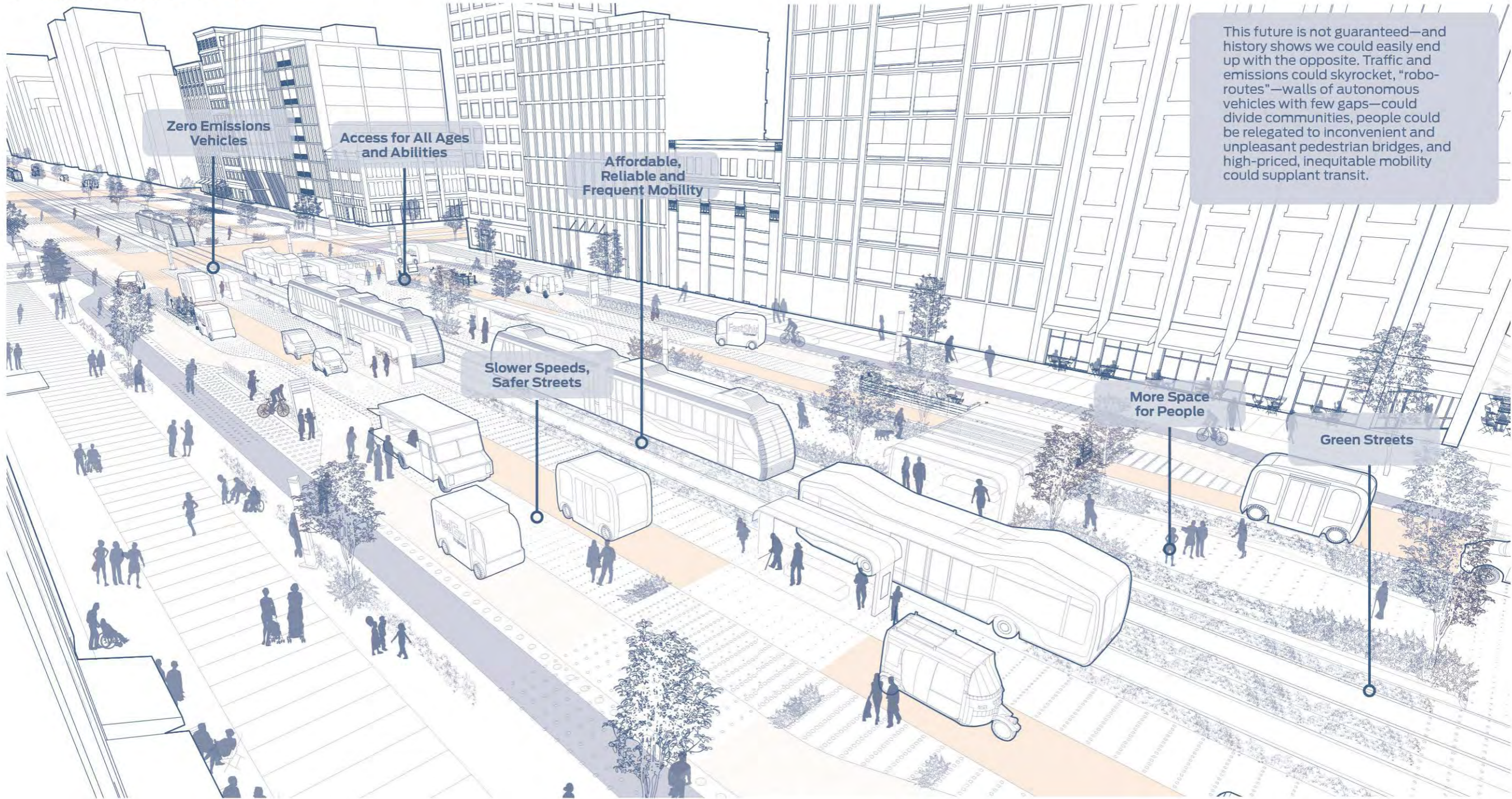
Module 1 | Fall 2017
Designing Cities Edition



National Association of City Transportation Officials
120 Park Avenue, 20th Floor
New York, NY 10017
www.nacto.org

The Promises and Perils of Automation

Automated vehicle technology holds many promises for cities, but the potential benefits of automation are not guaranteed. City policies must proactively guide the technology to prioritize people-centric design.



This future is not guaranteed—and history shows we could easily end up with the opposite. Traffic and emissions could skyrocket, “robot-routes”—walls of autonomous vehicles with few gaps—could divide communities, people could be relegated to inconvenient and unpleasant pedestrian bridges, and high-priced, inequitable mobility could supplant transit.



都市機能や空間の再編

20minute neighborhood

FIGURE 14 – THE 20-MINUTE NEIGHBOURHOOD

SOURCE: DEPARTMENT OF TRANSPORT, PLANNING AND LOCAL INFRASTRUCTURE, 2013





フォルツァ
絃曲輪

フォルツァ
絃曲輪





公共
交通

健康

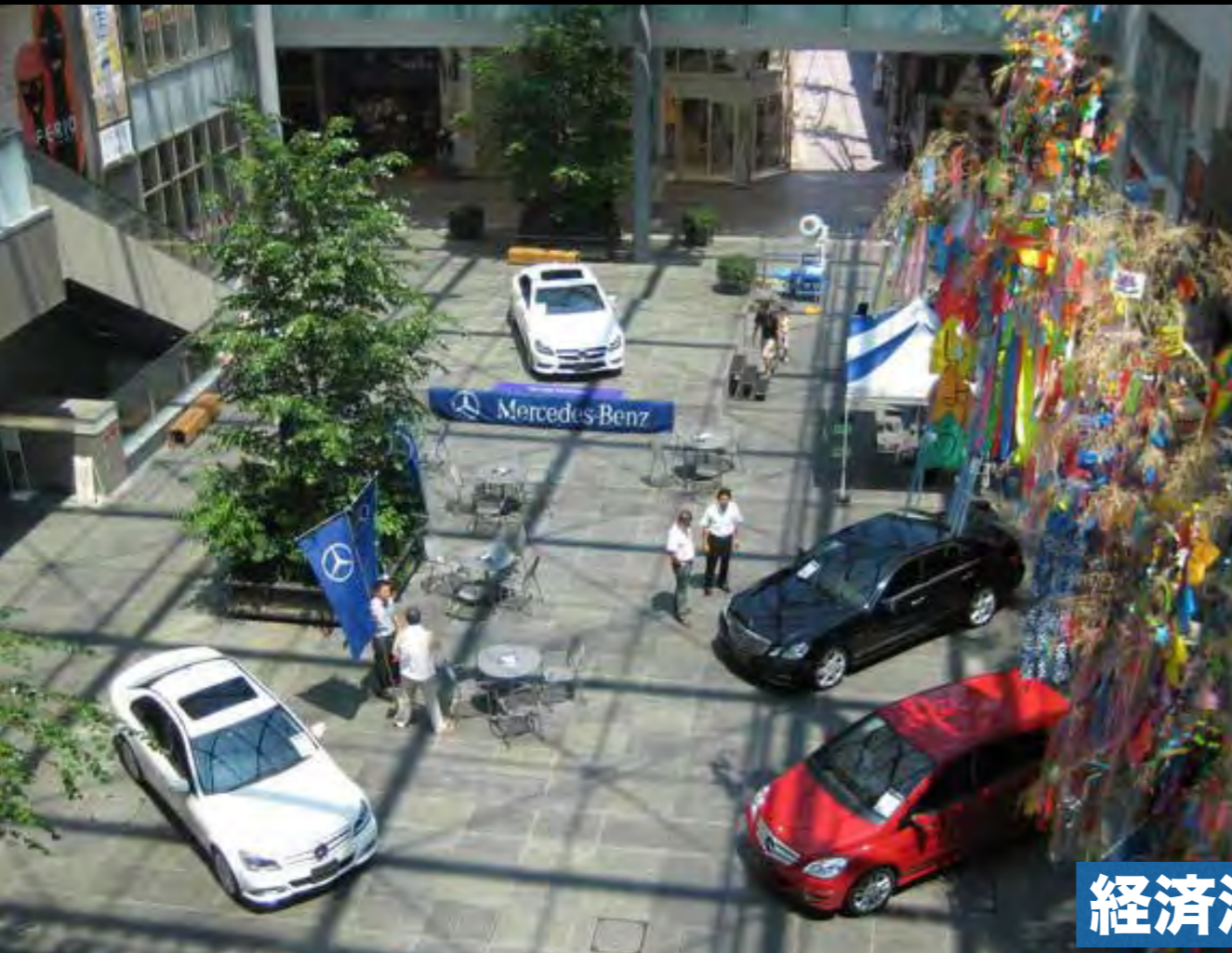


高齢者
子ども

居場所



コミュニティ



住まい

経済活性化 居場所



遊び 楽しみ



日常生活



まちとつなぐ



空店舗活用



空店舗活用



居場所

地域主導のまちづくりへ

エリアマネジメント

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組み

B I D (Business Improvement District)

国際的に普及するエリアマネジメント制度
類似制度を含めると欧米で約2,000地区

- ①地理的に区画され、
- ②徴収される負担金+収入+補助金が原資により活動し、
- ③地区の維持・管理・プロモーション等を行う
- ④これらは行政が提供するサービスに対する付加的なもの

なぜ、地域主体か？

地域のことを一番よく知っている
一番頑張る人に任せる (=アテ職とは限らない)
行政は必要な助言や事業・制度などをサポート
ただし、負担が集中しない仕組み・組織をつくる

PAST Activities & FUTURE Planning

Sanitation



1. **Clean Team**
100% score card cleanliness rating
2. **Partnership Bins**
Pilot project extended 2 more years by NYC DOE, for 125 additional receptacles
3. **Waste Reduction Study**
To be released Sept. 2007

Public Safety



1. **125th St. Ambassadors**
July 2007—eyes and ears, information, assistance
2. **Distinctive Street Lighting**
(Passed by Arts Commission—awaiting NYC DOT to assign a contractor)

Promotion



1. **Map & Guide and Web Site**
Distributed over 9,000 guides, updated website www.125thstreetbid.com
2. **Newsletter**
Produced bi-annually. Distributed 112,000
3. **New Banners**
May. 2007
4. **Holiday Lighting**
Nov. 2006 to Jan. 2007

Planning



1. **Cultural Study**
Presented at annual meeting
2. **Retail Surveys**
Results to be presented Sept. 2007
3. **Market Background Analysis**
Results to be presented September 2007
4. **Western BID Expansion**
Received support from CBD #9
5. **Retail Market Actions**
Real Estate Development Committee established
6. **Eastern BID Expansion**
Outreach Plan developed in conjunction with Councilwoman Melissa Mark-Verrito

資料：ニューヨーク125番街 BID

**NYC Business Improvement
District Trends Report**

NYC careers
Small Business businesses
Services neighborhoods

FY 17



<https://www1.nyc.gov/site/sbs/neighborhoods/bids.page>



BANGUNG

Coca-Cola



SOLSTICE



SHREK THE MUSICAL

TNT MONDAYS 10pm

PHANTOM OF THE OPERA

HATS

PHANTOM

HOTEL DOGS

HEY'S

TKTS

TKTS

PILO'S SAFETY





40年以上の歴史

2

OVERVIEW

BIDs in New York City

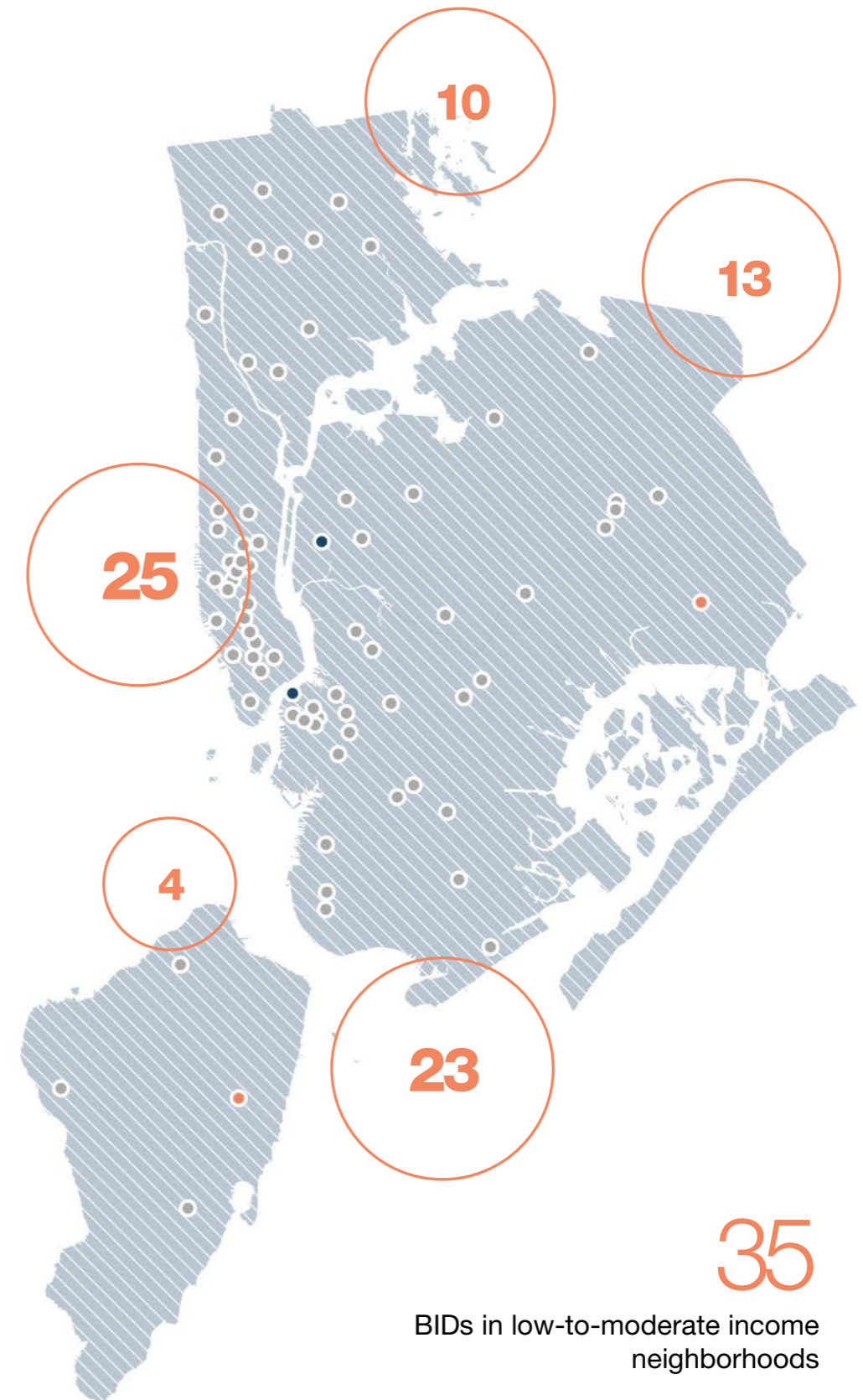
A Business Improvement District (BID) is a geographical area where local stakeholders oversee and fund the maintenance, improvement and promotion of their commercial district.

For more than **40 years**, BIDs have been valuable and proven partners in ongoing initiatives of neighborhood revitalization and economic development across the five boroughs, making NYC neighborhoods cleaner, safer and more vibrant. The City's **75 BIDs*** – the largest BID program in the country – service approximately **93,000 businesses**** and invest over **\$147 million** into local economies in the form of supplemental services.

- ▶ BID services are primarily funded by a special assessment on district properties
- ▶ BIDs provide services to supplement, not replace, the services already provided by the City
- ▶ BIDs are governed by a locally-controlled non-profit board of directors consisting of property owners, commercial tenants, residents and elected officials
- ▶ BIDs serve as a critical liaison between City government and neighborhood stakeholders

*Data presented in the FY17 BID Trends Report reflects a total of 72 BIDs. The 73rd, 74th and 75th BIDs (Greater JFK, Queens; New Dorp, Staten Island; Morris Park, Bronx) had not yet begun services in FY17.

**Source: ReferenceUSA Info Group, 2017



HIGHLIGHTS FROM FY2019

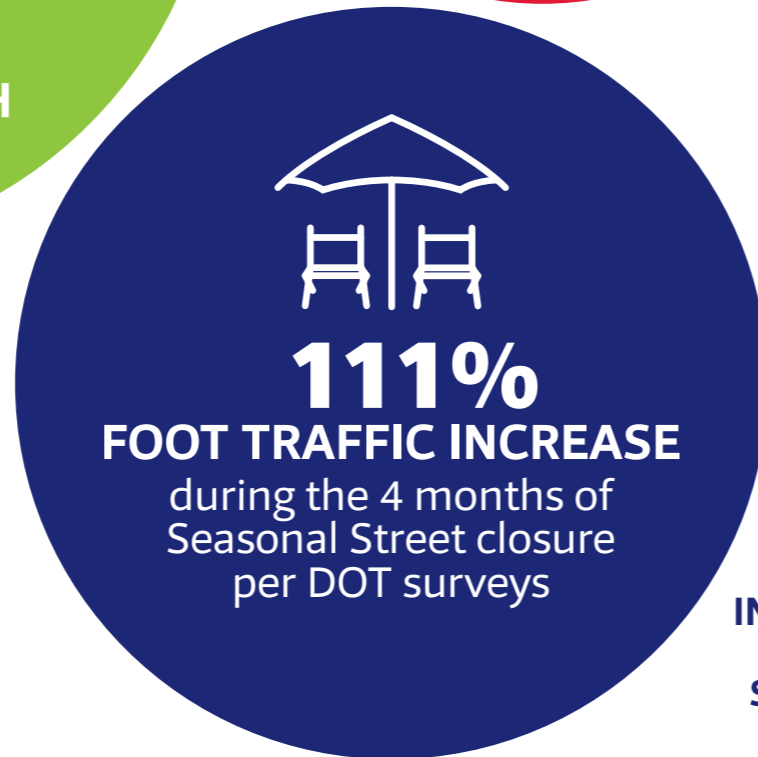
Operating 3 Locations: 217 Park Row | 49 Madison | Canal Street Information Kiosk



92,798
BAGS OF TRASH
(100,000 bags less than in FY2018,
due to increased Big Bellies efficiency)
Productivity, labor, and material savings:
\$250,000
28-33%
INCREASE IN TRASH
in correlation to more
foot traffic



PROMOTIONS FROM
YOUR NEIGHBORS
63,000
COUPON BOOKS
(+55% increase
from FY2018)



111%
FOOT TRAFFIC INCREASE
during the 4 months of
Seasonal Street closure
per DOT surveys

1.8 MILLION
VIEWS OF ATTRACTCHINA,
SUPHY LIU, AND
CHINATOWN PARTNERSHIP
WALKING TOUR VIDEO
3,845 LIKES | 957 REPOSTS
728 COMMENTS
SOCIAL MEDIA PRESENCE: 11237
COMBINED FOLLOWERS



218
TREE PITS



28
PLANTERS



85
BANNERS



3105
INCIDENTS
OF GRAFFITI
REMOVED
(+30% increase from FY2017)

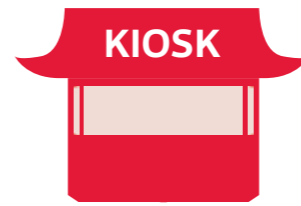


1689
GROUND FLOOR
STOREFRONTS



2500+
DAFFODILS
PLANTED
by BID team with
volunteers & the Parks Dept

AT LEAST 149 NEW
STOREFRONT GRAND OPENINGS



6897
DISTRICT MAPS
(+177% increase
from FY2018)
52,000
CARDS/BROCHURES
DISTRIBUTED

\$3000
RISK ASSESSMENT
GRANT
at least 70
business applicants;
thousands of
applications distributed

4
ADA COMMUNITY
WORKSHOPS &
INFORMATION FORUMS
that resulted in a
\$100k PPL publication
to help guide as
sponsored by NYC SBS



20
SANITATION WORKERS
2534+
PROPERTY OWNERS
2808+
COMMERCIAL TENANTS



620,385+
ATTENDEES TO
PUBLIC EVENTS

56
COORDINATED PUBLIC EVENTS
(+40% increase from FY2018)
39,046
EVENT-SPECIFIC POSTER/FLYERS

3000+
TOYS GIVEN AWAY
during the Toys4Tots Holiday Program
114 STREET FURNITURE ELEMENTS
72 WAYFINDING ELEMENTS
416 LIGHTING ELEMENTS
1136 INFRASTRUCTURE ELEMENTS



図1：うめきた2期地区全景



図2：都市公園全景



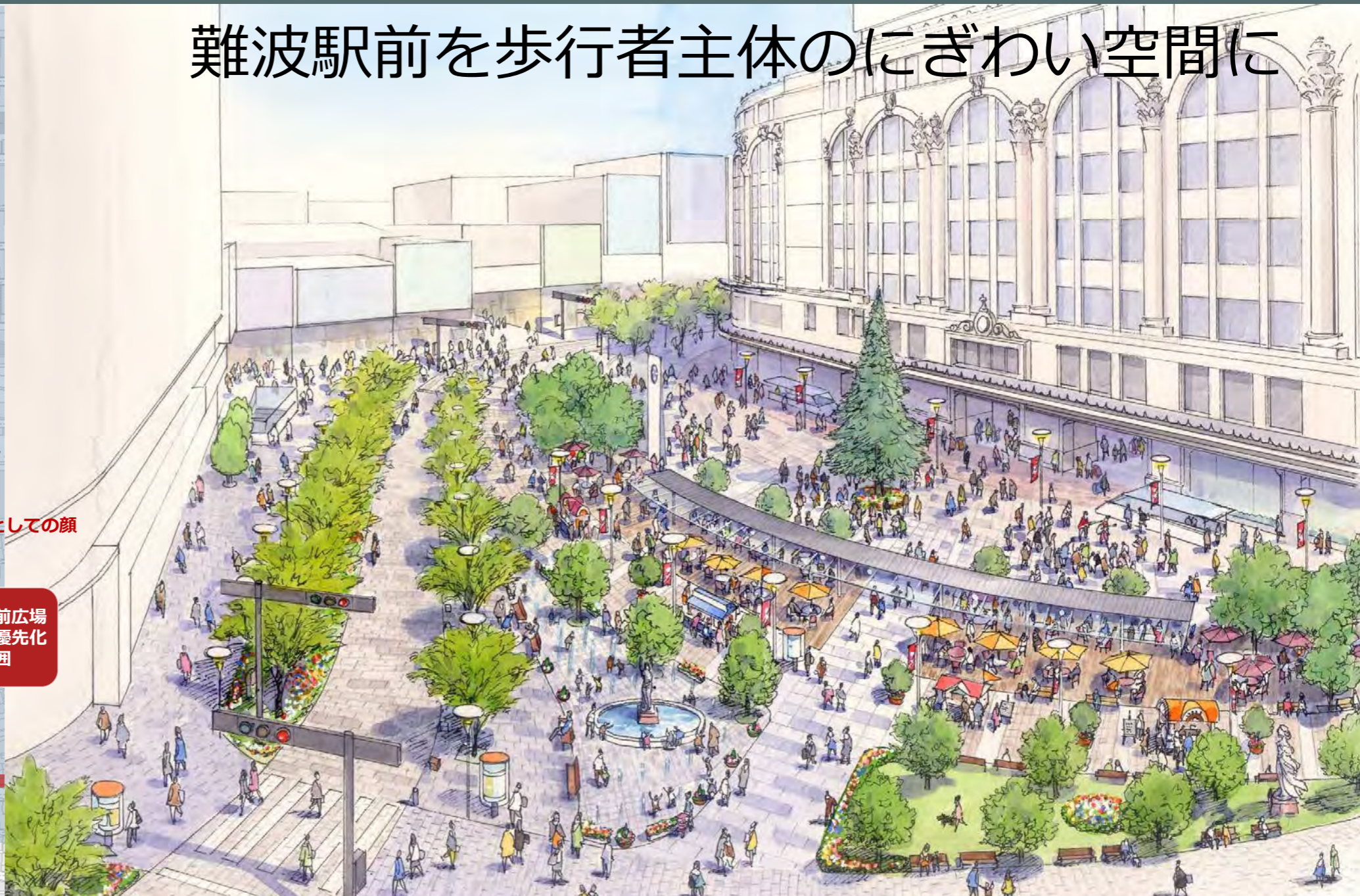
図3：都市公園（北公園）の「うめきたの森」



図4：都市公園（南公園）の「リフレクション広場」



難波駅前を歩行者主体のにぎわい空間に



世界的観光
集客エリア

御堂筋と一体に顔づくり

世界的な観光エリアとしての顔

国際線ターミナルとしての顔

難波駅前広場
歩行者優先化
検討範囲

旧態依然とした難波駅前を抜本改善

難波駅周辺は大阪を代表する世界レベルの観光地であり、お客さまを迎える駅前を抜本的に改善し、御堂筋と一体となった魅力化が急務。



駅前広場を自動車占める

通りは放置自転車の溜り場

世界は急ピッチに都心改造

世界の主要都市は都市間競争に打ち勝つため、都心部を大胆に改造して歩行者主体の街づくりを進めている。



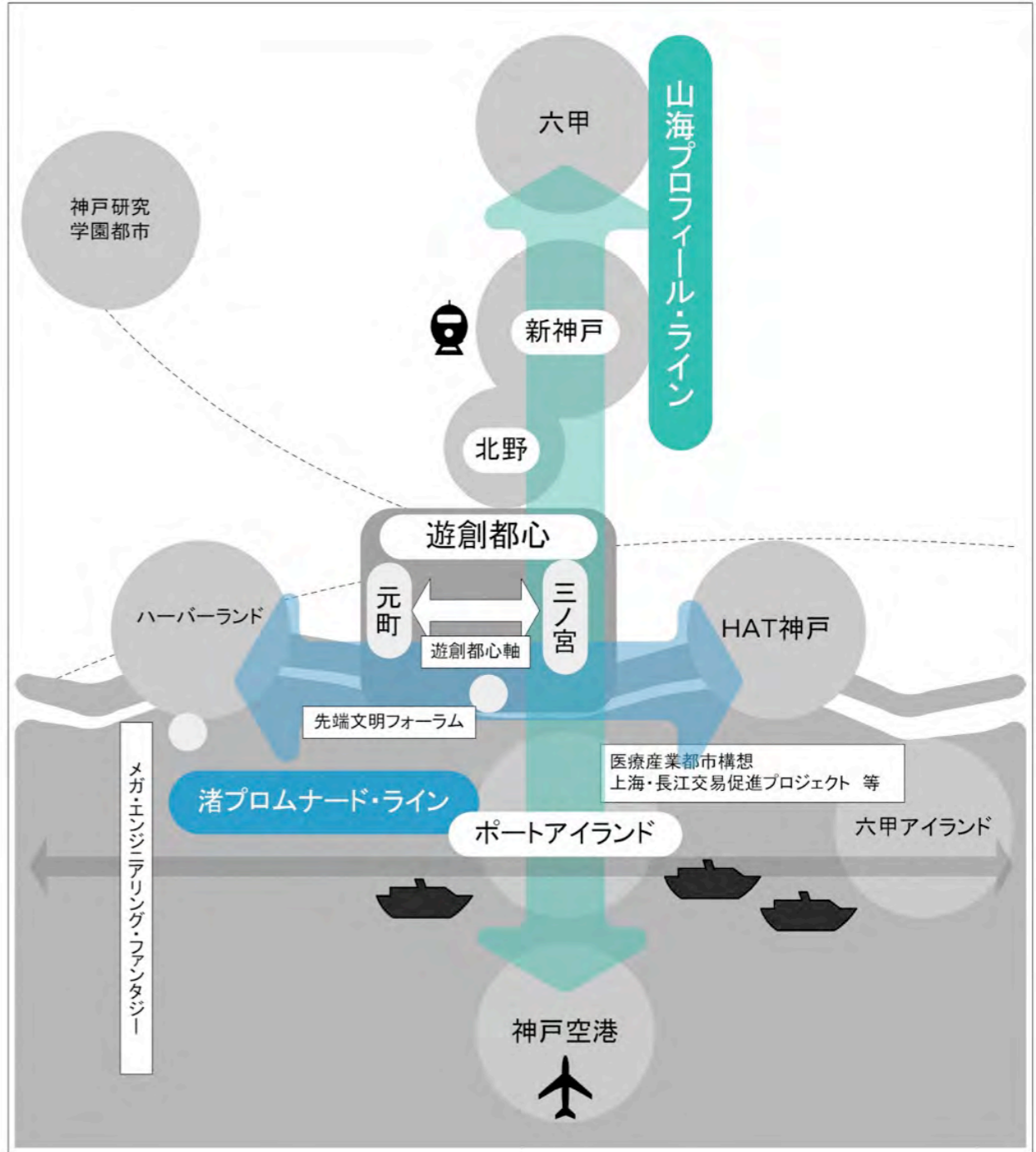
N.Y.タイムズスクエアは車主体から歩行者主体へ

難波駅前をワールドクラスの広場に

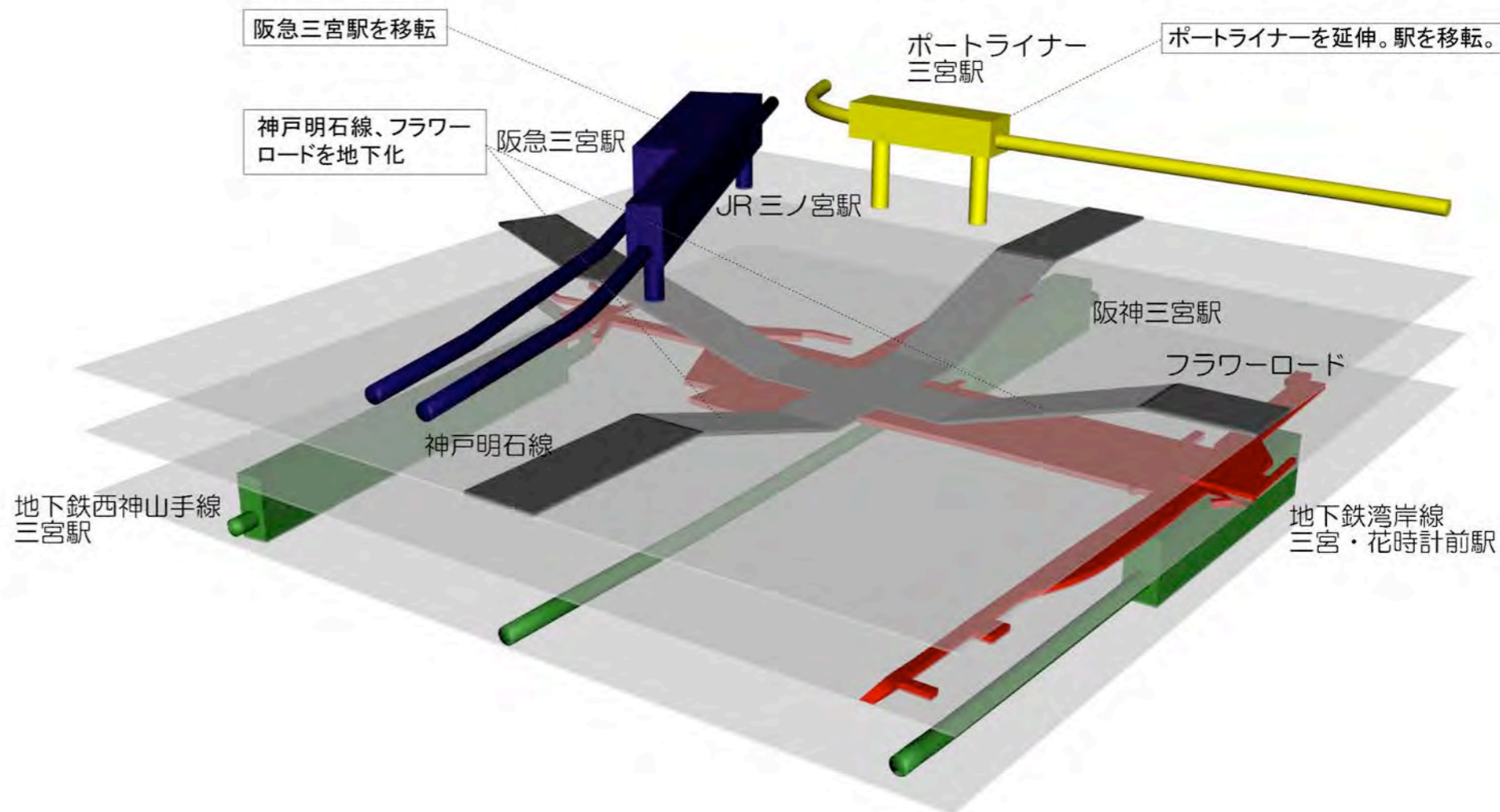
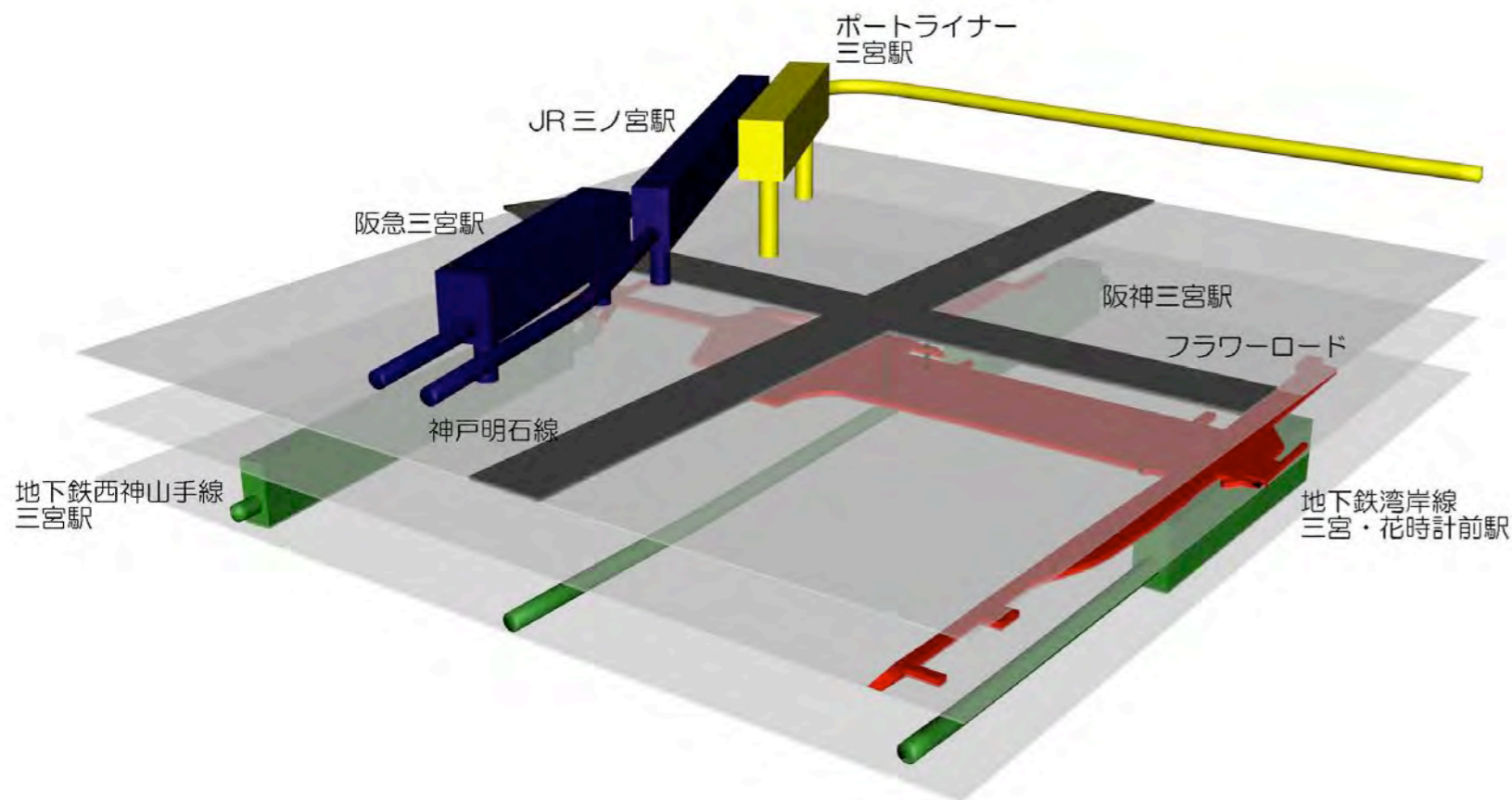
- **ミナミにワールドクラスの新名所を**
現広場は歩行者空間を重視して地上地下を含めて再生、御堂筋と一体的にワールドクラスの観光名所、にぎわい交流拠点とする。
- **繁華街の防災拠点づくり**
難波駅周辺は密集した繁華街ながら防災機能が脆弱であるため、難波駅前の広場化により防災拠点としての機能も持たせる。
- **地元主導の組織づくり**
地元では「なんば安全安心にぎわいの街づくり協議会」が設立されており、ビジョンづくりに着手中。公共空間をにぎわいづくりに生かすための運営管理を担う、ソフトなくみもワールドクラスを育みたい。

**おわりに
神戸の魅力とは**

昭和30年当時の神戸都心部（神戸新聞社）

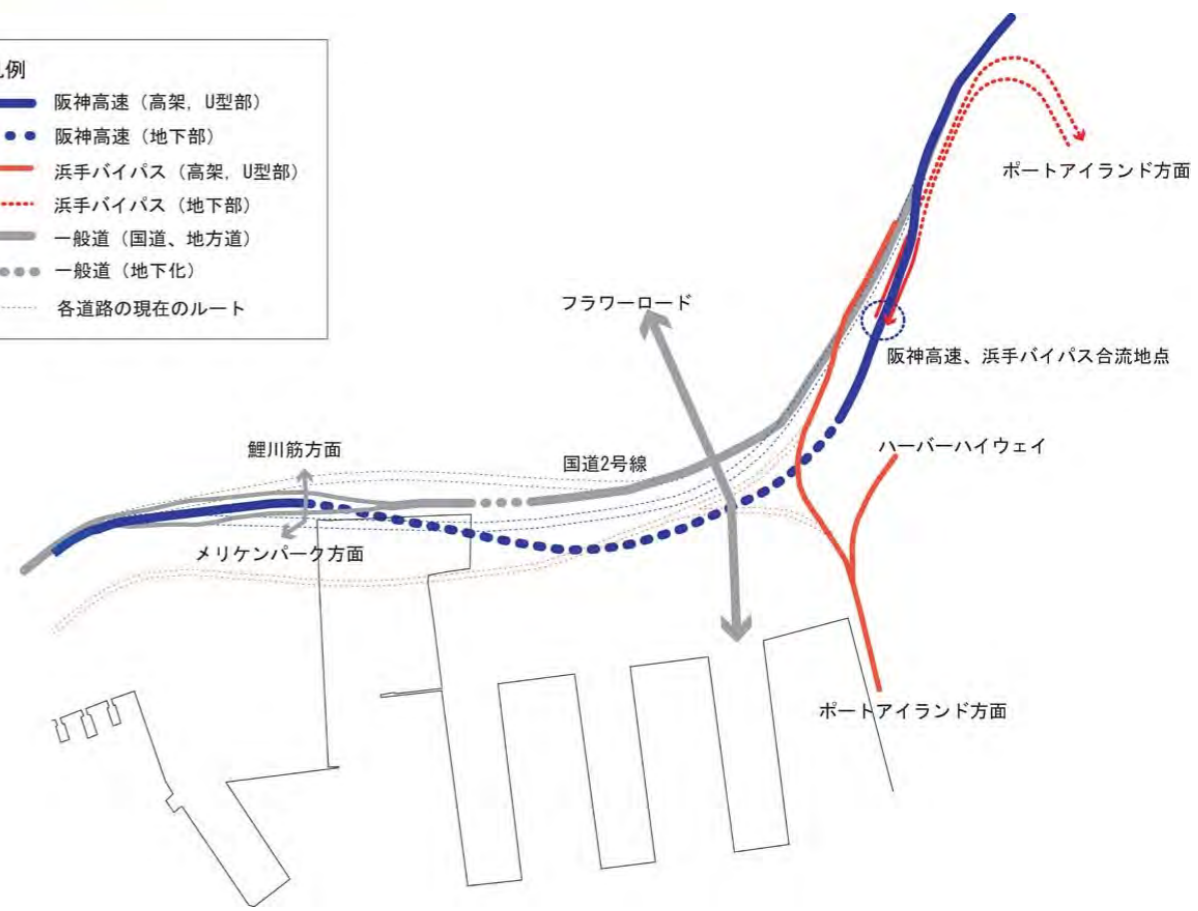


神戸2050構想 神戸商工会議所 2004.3





- 凡例
- 阪神高速 (高架, U型部)
 - 阪神高速 (地下部)
 - 浜手バイパス (高架, U型部)
 - 浜手バイパス (地下部)
 - 一般道 (国道、地方道)
 - 一般道 (地下化)
 - 各道路の現在のルート





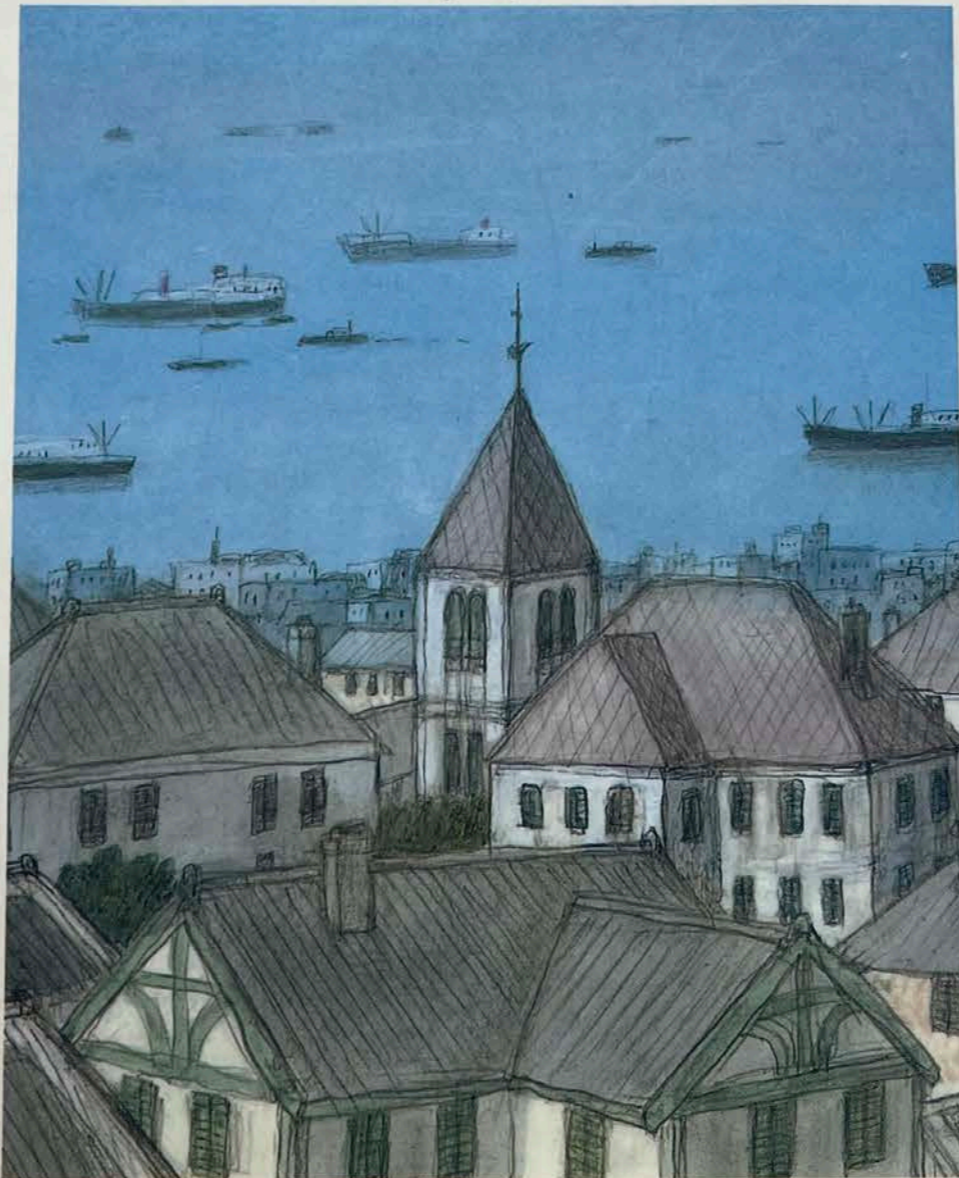
Heibonsha Library

陳舜臣

神戸ものがたり

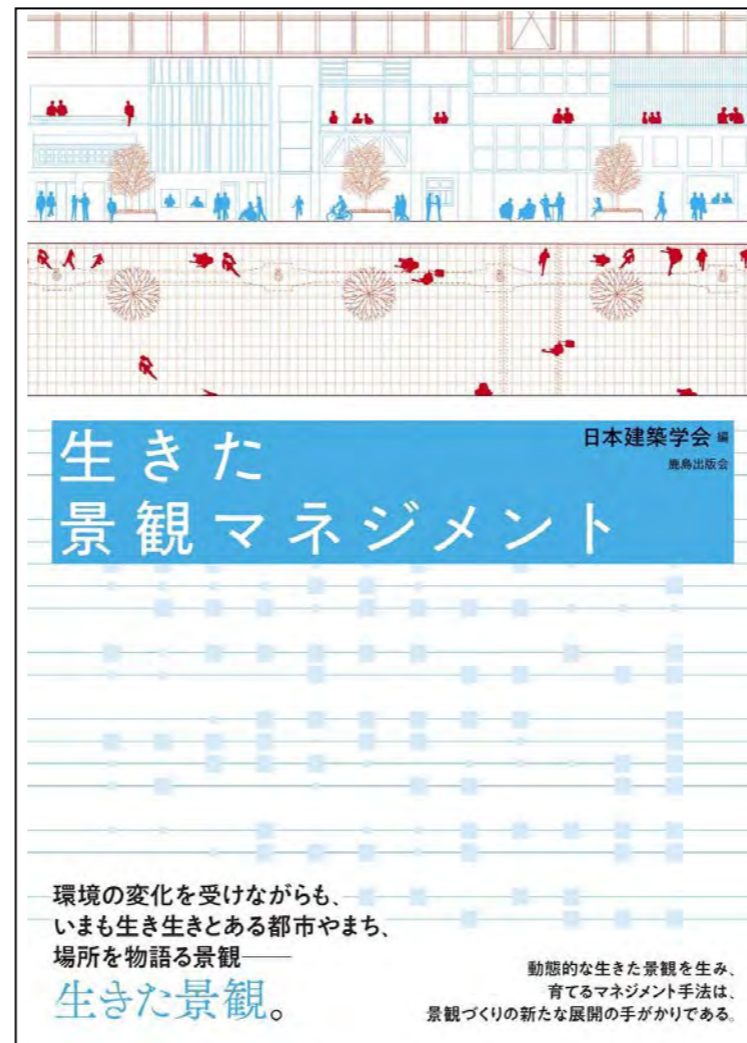
初版「神戸というまち」の発行から30年余、小説以外では処女作であった
本書の刊行以後、神戸に寄せる思いは変わることなく、否、ますます深く熱い。
震災の傷、いまだに癒えることのない町と人びとに贈る。

平凡社

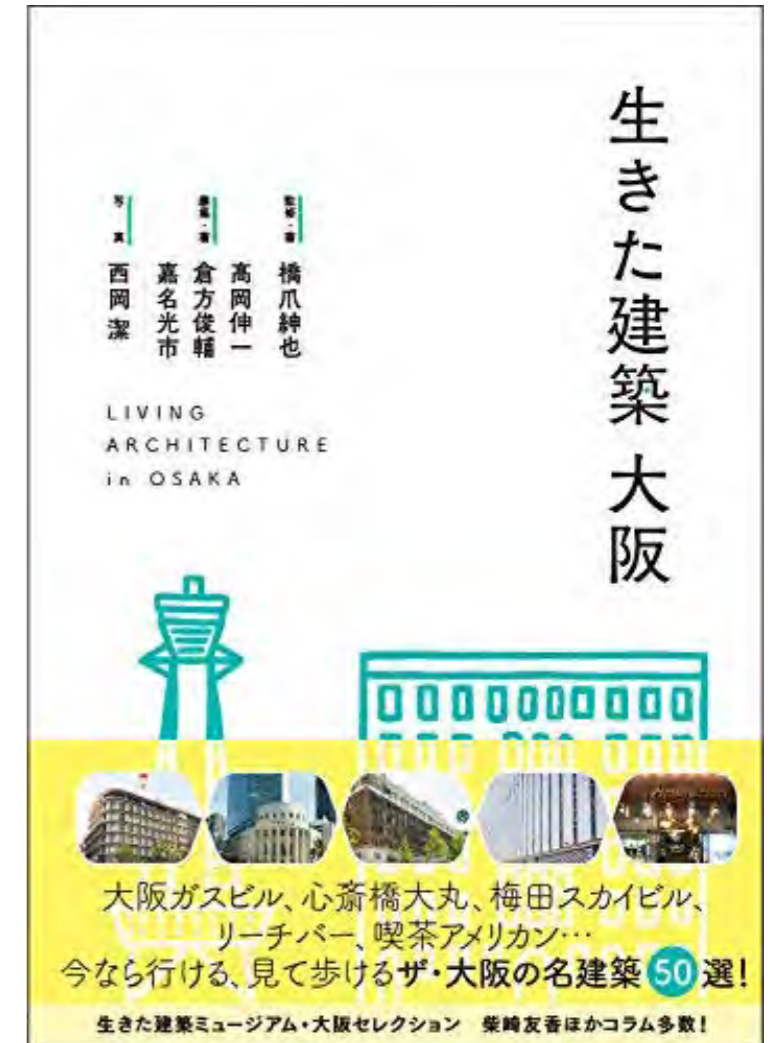




都市を変える水辺アクション
(学芸出版社)



生きた景観マネジメント
(鹿島出版会)



生きた建築 大阪
(140B)



大阪公立大学 (仮称)